大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可
昭和十二年五月二日
新京日日新聞
（日曜日）
第五千百二十六號 （一）

新京日日新聞

夕刊 五月一日
本紙 一部五錢 一ヶ月壹圓五拾錢
定價（郵税）一ヶ月壹圓五拾錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用（3）三二〇五 營業局專用（3）三二〇〇
發行人 十河信忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越内之介

政戰の幕は閉ぢたれど

全國一齊に開票 けふ中に七十區決定

現内閣への信不信茲に表示

【東京國通】昨日全國一齊に行はれた總選擧は今明日にわたつていよいよ開票が行はれかくて現内閣に對する信不信の民意が表示されることゝなつた

本日 開票の第一日に當選の決定をみるのは七十區二百六十七名、すなはち東京第一區より第七區まで定員三十一名、京都第一、第二兩區定員六名、大阪第一區より第六區まで定員廿一名、兵庫第一區より第五區の十九名、神奈川第一區より第三區までの十一名、新潟第二區四名、埼玉第一區より第四區まで十八名三區十一名、群馬第一區第二區九名、千葉第一區より第三區十一名、茨城第一區より第三區十一名、栃木第二區四名、愛知第一區より第五區の十七名、靜岡第二區四名、滋賀全縣一區四名、長野第二區第四區六名、宮城第一區第二區八名、青森第一區第二區六名、富山第一區第二區六名、鳥取全縣一區四名、島根第一區第二區六名、岡山第一區第二十名、廣島第一區より第三區まで十三名、山口第一區第二區九名、和歌山第一區三名、香川第一區第二區六名、福岡第一區より第四區まで十八名佐賀第一區第二區六名、合計七十區二百六十七名である

なほ 無投票當選者は京都第三區三名すなはち芦田均（政前）、津原武（民前）、村上國吉（民前）の三氏、新潟一區定員三名北吉（民前）、松井郡治（民前）、山本悌二郎（政元）の三氏、愛媛第一區定員三名武知勇記（民前）、松田喜三郎（民前）、大本貞太郎（政前）の三氏、大分第二區定員三名清瀨規矩雄（政前）綾部健太郎（政前）、重松重治（民前）の三氏、合計十二名である

本田義成（政元）五五〇〇
立川太郎（政前）五四五〇
伊集院兼淸（昭新）二八〇〇
河野密（社前）一〇七五〇
眞家齊一郎（中新）五三五〇
空閑知鶴治（中新）一五〇〇

東京四區

△東京四區（定員五名）九時現在投票數左の如し
眞鍋儀十（民前）八〇〇〇
太田信治郎（民前）一〇〇〇
山田清（民新）二〇〇〇
佐藤正（民前）一五〇〇
田中源（政前）六〇〇
深田吟治郎（勤勞日本新）三〇〇

東京五區

△東京五區（定員五名）午前九時現在投票數左の如し
加藤勘十（日無新）一三〇〇〇
牧野賤男（政前）一二〇〇〇
麻生久（社前）一一五〇〇
斯波貞吉（民前）一〇〇〇〇
菊池義郎（昭新）九〇〇〇
大橋淸太郎（民新）四五〇〇
三輪壽壯（社新）四五〇〇
三上英雄（政元）二〇〇〇
鏑木忠正（民前）一五〇〇
森 肇道（民前）九〇〇〇
山田竹治（民新）九〇〇〇
中野勇治郎（政元）四〇〇〇
瀧澤七郎（政新）一、一〇〇〇
阿部茂夫（社新）一、四〇〇〇
朴春琴（中元）四五〇〇
鶴島卯三郎（中新）一〇〇〇

東京六區

△東京六區（定員五名）午前九時現在投票數左の如し
前田米藏（政前）七〇〇〇
鈴木文治（社前）六九〇〇
中村繼男（國元）五三〇〇
中村梅吉（民前）四五〇〇
鈴木茂三郎（日無新）二五〇〇

當選決定者氏名

【東京國通】一日午前十一時三十分現在當選決定者左の通りである

東京二區（定員五名）

安部磯雄（社前）一八、八三六
鳩山一郎（政前）一二、七六六
中島彌團次（民前）一二、六三三
長野高一（民前）八、八三五
駒井重次（民前）八、六八二
長濱繁（政新）七、五五八（次點）

東京三區（定員四名）

頼母木桂吉（民前）一三、九三三
淺沼稻次郎（社前）一三、五四〇
田川大吉郎（中前）一一、七〇一
安藤正純（政前）一一、一三〇
次點 伊藤仁太郎（政元）六、二三五

大阪一區（定員三名）

田萬淸臣（社前）三一、五三一
板野友造（政元）三三、九八三
一松定吉（民前）三三、三三九
次點 桝谷寅吉（民前）一三、四八一

大阪二區（定員三名）

榮安新九郎（民前）一三、三二一
山本芳治（政前）一〇、三五五
井上良二（社新）八、七〇一
沼田嘉一郎（政元）七、七四九（次點）

大阪三區（定員四名）

塚本重藏（社前）一四、八三一
池崎忠孝（中前）一三、九一〇
内藤正剛（民前）一〇、八三一
上田孝吉（政前）一〇、六〇六
高梨乙松（國新）八、三〇一（次點）

大阪四區（定員四名）

川村保太郎（社前）二六、八八〇
西尾末廣（社元）二二、〇六一
中山福藏（民前）一〇、九〇四
本田彌市郎（民元）一七、七四〇
森田政義（政前）一七、〇九〇（次點）

開票状況

定當選者政派別數左の通り
民政 一五名（舊一五）
政友 九名（舊九）
社大 六名（舊五、新一）
中立 一名（舊一）
計 三一名（舊三〇、新一）

東京一區

【東京國通】東京第一區（定員五名午前十時現在）得票數左の如し
高松義次（民元）九六五〇
原玉重（民前）六六〇〇
橋本勝幸（民前）五五〇〇
渡邊[illegible]（民前）二六五〇

來るべき特別議會 八月に召集か

【東京國通】一日正午現在確

【東京國通】特別議會の召集期は選擧後の政情頗る微妙なるものがあるだけに注目されてゐるが、三十日の樞府審査委員會における一顧問官の質問に對し政府は來る特別議會には現内閣獨自の政策を提出するつもりであるから、開會までには相當の期間を必要とするわけである、從つて期間の許す限り最大限度まで伸したいとて暗に八月に召集したい意向を漏した、當初政府の方針では特別議會の召集を七月と前後とする豫定であつたが、會期も暑熱を考慮して十月選擧後の情勢に對し政府はなほ暫くその成行を注視する必要あり閣僚中にも過日聲明した八大政策を具體化し、林内閣獨自の政策を實現するためには召集期を延期した方が妥當なりとの見解が有力となつて來たので、憲法第四十五條の「解散の日より五ヶ月以内」といふ規定を最大限度まで延して八月とするに至つたものゝやうである

東久邇若宮殿下 講話御聽取

御滯京中の東久邇宮盛厚王殿下には一日午前八時二十分御宿所御出門、關東軍司令部に成らせられ講堂にて植田軍司令官の講話を御聽取次いで九時十五分日滿軍人會館に成らせられ士官學校生徒と御共に關東軍幕僚の講話を御熱心に御聽取遊ばされ十一時五十分宮内府御着、滿洲國皇帝陛下に御對面種々御物語りのゝち午後一時半宮内府發御歸路に向はせられた

全國的に見て 棄權率は增加

議會政治への期待薄を反映

【東京國通】政戰一ヶ月、政局の動向を決定すべき第廿回總選擧投票は卅日全く終つたが、投票の結果は政府政黨の鳴物入りの棄權防止運動にも拘らず全國的に棄權率の增加をみるにいたり、これは國民の變態的政變に對する關心著しく消極的であり議會政治に期待するもの薄きを反映せるものとして注目されてゐる、すなはち六大都市ならびにその他重要都市における投票成績を示せば次の如くである

△六大都市棄權率（前回）

都市	棄權率	（前回）
東京	〇・三九一	〇・二七五
大阪	〇・五一五	〇・四一一
京都	〇・四二四	〇・四三〇
名古屋	〇・二九九	〇・二八三
神戸	〇・三九九	〇・三〇一
横濱	〇・三三三	〇・三三〇

△全國主要都市成績（前回）

都市	棄權率	（前回）
函館	〇・三〇四	〇・二六六
小樽	〇・二六七	〇・一九八
札幌	〇・三六七	〇・二二一
青森	〇・二一七	〇・一七二
仙臺	〇・二五七	〇・一九九
長野	〇・二四八	〇・一四九
松本	〇・二三二	〇・二〇一
甲府	〇・一二九	〇・一一三
高知	〇・二五五	〇・二三三
高松	〇・二四八	〇・一七四
岡山	〇・二七四	〇・二七七
廣島	〇・二四一	〇・一八四
奈良	〇・二一三	〇・一六一
熊本	〇・二〇五	〇・二六八
鹿兒島	〇・三六四	〇・二七三
宮崎	〇・三三六	〇・三三四
那覇	〇・二六一	〇・一〇七
松江	〇・一九一	〇・一五八
彦根	〇・二三九	〇・一三〇
姫路	〇・二二九	〇・一六二
長崎	〇・二一九	〇・二〇〇
靜岡	〇・三一〇	〇・一九二
横須賀	〇・二三五	〇・一七〇

對支協調に關し 日英非公式交渉開始

―ユー・ピー特派員報道―

【ロンドン廿九日發國通】日英兩國政府は最近の對支政策に關し接近を圖つてゐると傳へられてゐるが、ユー・ピーロンドン支局クー特派員の報道によれば既にロンドンにおいて兩國政府間に對支協調に關する非公式交渉が開始されたといはれる、クー特派員の報道要旨次の如し

一、ロンドン駐劄吉田大使は英國外務次官補カドガン氏との間に極東の新政策に關して非公式交渉を開始した

一、右會談では對支共同援助問題が討議されてゐるが、日英以下諸大國は支那の財政的、經濟的回復を援助するために新たに努力せねばならぬといふに意見一致したと解される

一、さらに英國外務省は右交渉が進捗し成果を結ぶ場合米國政府の協力を求める意向とみられ會談の經過を逐一米國側に通報してゐるといはれる

津石鐵道建設に 支那鐵道部 反對を表明

【上海卅日發國通】河北における日支經濟提携の第一着手として注目されてゐた津石鐵道建設問題は最近冀察當局において愈々實行に着手する用意を進めて來たが、これに對して鐵道部當局は卅日左の聲明を發表し實現阻止の意圖を明白にした

津石鐵道は絕對に建設の必要はない、經濟的には同鐵道は津浦線の北部と併行し殊に滄石鐵道の基礎工事は既に進行してをりこれを利用することは時間的にも財政的にも當然であり、鐵道部は滄石線の修築をあくまでも主張し一切は鐵道部にて處理する、この點については既に冀察當局にも嚴重に表示してある

汪、蔣再び不和

汪兆銘氏はさきに海外から歸國後直に南京政府に入つたが、近來再び蔣介石氏との間不和になりつゝあると傳へられてゐるが、汪氏は最近各方面と頻りに連絡をとり打倒蔣介石運動を開始しその勢可成猛烈と言はれ、南京政府部内ではまた新たに此の問題の發生で非常な不安な狀態に陷入つてゐる

經濟合作の爲 冀東政權解消（某要人談）

【北平卅日發國通】冀察政權の某要人は廿九日夜北平日本記者團との會見において、冀東政權解消を要望し左の如き冀察政權の見解を表明した

北支の經濟開發は政治問題と並行して行はるべき筋である、冀察側ではこの見地に立つて日本との合作によつて經濟開發をやる念願である、この點南京政府のいはゆる政治問題解決後でなければ、北支の經濟提携には應じられないといふのとは異つてゐる、冀察政權が日本との經濟合作に誠意をもつて對したならば日本もまた冀察の誠意に對して政治協調の實を示すべきだ、それにはまづ冀東政權の解消が必要である、冀東自治區は冀察の一部であるから、冀察の主權が及ばないことは行政上迷惑な存在となつて困るからである冀東解消によつて冀東自治區廿二縣に急激な變化を及ぼすことはない

伍堂商相初人事

【東京國通】統制局の新設にともなふ商工省の人事異動は左の如く内定、一日附をもつて次の如く發令される筈である、今回の異動は伍堂商相の初人事で六月一日および七月一日より新設される燃料局および新設豫定の貿易局の二外局の長官、部課長の部内大異動の前驅をなすものと注目される

任札幌鑛山監督局長 黒田鴻五
任統制局長 臨時産業合理局第一課長 辻謙吾
任札幌鑛山監督局長 貿易局統制課長 柏村[illegible]三
任大臣官房秘書課長 大臣官房秘書課長 菱沼勇
任大臣官房文書課長 商工事務官 吉田定次郎
任工務局監督課長 商工事務官 新井茂
任貿易局統制課長 商工事務官 石田祐次郎
任貿易局大阪貿易事務所長 貿易局大阪貿易事務所長 諸井桃二
任統制局統制課長 商工事務官 猪熊信二
任統制課長兼金融課長 大島永明
任特許局意匠商標部長

人事往來

着京

▲加藤令造氏（官吏）三十日來京ヤマトホテル
▲三澤律氏（ハルビン學院）同
▲岩田文治氏（會社員）同
▲郡新一郎氏（哈鐵）同
▲大橋正己氏（奉天鐵道事務所）同
▲中村英城氏（同）同
▲徳田貞一氏（三井鑛山）同國都ホテル
▲山口喜一郎氏（同）同
▲水町涼氏（滿洲採金）同
▲岩根茂藏氏（滿炭）同
▲岡本健一氏（商）同
▲藤谷彌三郎氏（朝鮮商業銀行）同
▲藤江四郎氏（朝鮮信託平壤支店長）同
▲土屋恭介氏（殖產銀行平壤支店長）同
▲有馬純義氏（勸業銀行平壤支店長）同
▲岸田虎一氏（朝鮮金融組合平壤支店長）同
▲小河内浩一氏（朝鮮貯蓄銀行平壤支店長）同
▲山上逸氏（朝鮮銀行平壤支店長）同
▲角田吉藏氏（安田銀行平壤支店長）同
▲村井矢之助氏（官吏）同向陽ホテル
▲野崎貞俊氏（大倉土木）同
▲弓田壽雄氏（通化林務署）同新京ホテル
▲長谷部唯丸氏（同）同
▲渡部幸雄氏（教員）同富士屋
▲伊藤順三氏（滿鐵）同
▲鈴木順一氏（官吏）同
▲藪田末治氏（商）同愛國ホテル
▲山野淡路氏（辯護士）同

出發

▲山田英夫氏 三十日發吉林へ
▲柳原義光伯 同
▲安場保健氏 同
▲高崎弓彦氏 同
▲三室戸敬光氏 同
▲赤池濃氏 同
▲松本勝太郎氏 同
▲石橋濃作氏 同
▲海保勇三氏 同
▲伊藤太郎氏 同
▲河内由藏氏 同ハルビンへ
▲林博氏 同
▲濱島尚義氏 同
▲野崎嘉一郎氏 同
▲福井正平氏 同
▲印南直二郎氏 同
▲別宮秀夫氏 同四平街へ
▲別所大氏 同チチハルへ
▲栗山茂二氏 同錦州へ
▲宇野正一氏 同奉天へ
▲高橋理作氏 同
▲長崎浩氏 同
▲重田實氏 同
▲小倉圓平氏 同
▲宇田一氏 同
▲田中知平民 同
▲井上巖二氏 同京城へ
▲熊谷彌氏 同大連へ
▲山本宗次氏 同
▲鈴木龜雄氏 同
▲加納芳三郎氏 同天津へ
▲山田直之介氏 同吉林へ
▲吉岡眞一氏 同
▲森江幸之助氏 同
▲小野嘉代治氏 同ハルビンへ
▲小松崎中三郎氏 同
▲釘本昌二氏 同
▲青木猶吉氏 同營口へ
▲望月龍氏 同奉天へ
▲中西博氏 同
▲相澤信六氏 同吉林へ
▲井上日登志氏 同
▲大利政忠氏 同
▲山本庄吉氏 同
▲鈴木恒雄氏 同奉天へ
▲西本直孝氏 同ハルビンへ

その日〳〵

□ 總選擧全國一齊に開票、棄權率意外に增加、國民の關心を物語るもの

□ 重要產業統制法公布、日滿經濟ブロック强化に更に拍車をかけるもの

□ 汪兆銘、蔣介石再び不和の報、しつくり行く筈のないのが南京人事

□ あす訪日宣詔記念日、日滿一德一心をこの日のみ顯現することでも有意義

□ 電業けふからサービス週間週間だけのサービスであつては不可

歌はぬ樂譜

（百三十）

山中峯太郎 作
水門讓二 畫

六つの座席（七）

「いや、客てはない！」

言ひながら庭から椽へ、村上校長が、ムッとした氣配で上つて行つた。後に、あき子夫人とキミ子が、つゞいて現れた。三人を見ると、さすがの正枝も、忠夫の机の前からサッと離れながら

「まあ、多勢、いらしたこと！」

ヒステリックに叫び出した――武藏野館へ行つてた、あの三人だわ！

キミ子の兩親であるのを、正枝は、一目で知つた。その父の村上校長が、忠夫の横へ座ると

「誰方かね、このお孃さんは？」

靜かな調子だつた。

忠夫は、座りなほしたまゝ青ざめてゐた。

「初めてお見かけする方ね」

と、あき子夫人は、正枝の洋裝を瞬間に、くまなく見てとつた。

――何といふ、これて兩親がある人がしら？

さう思はずにゐられない、まるでフランス人形を見るやうな化粧といひ、腕ぞ胸先もあらはな、あさましい着つけといひ

――どうして、こんな風を親がさせておくのだらう？

まざまざと侮蔑的な眸を、あき子夫人は、正枝へ投げたすると

「あたし、石田さんと、前からの親友ですのヨ」

唇をさがらして、正枝は、破れかぶれになつて

「御結婚のお祝に、上つてるんですわ。いけないんですの？」

初めから反抗的に目の前の三人を見すゑて言ふのだつた

キミ子は、兩親の後に、おびえたやうに座つてゐた。

さ、村上校長が、冷靜に

「たび〳〵學校へ、石田を訪ねて來られたのも、あなたですな」

「えゝさうですわ、親友なんですもの」

忠夫が、たまらなくなつて

「そんなことは、斷じてありません」

キッパリ言ふと

「お歸り下さい！」

「さう、歸るわ！」

正枝の眸が、恨みに燃えていて

「あなた方は、何なの？ 祝に來たお客を、皆で追ひ拂ふのね、ホホ、、、歸るわ！」

スッと立ち上るさ、よろめくやうに椽へ出て行つた。脱ぎすてゝあるハイヒールを、すばやく穿くとそのまゝ門の方へ、走るやうに姿を消してしまつた。

「忠夫……」

と、村上校長が、忠夫を見て

「一體、あれは何かね」

「飯島といふ、市會議員の令孃です」

三人の顏を眺めながら、忠夫はすまないやうに

「全く、私とは何の交渉もない、決して親友などではない」

「ウム、それは分つてゐる。市會議員の飯島、ガス疑獄のあれかナ？」

「さうです」

「困つたものですこと。あゝいふお孃さんがあつては」

と、あき子夫人はホッとして

「キミ子さん、あなたも、氣が弱いぢやありませんか、あんな人が來たら、なぜ、追ひ歸さないんです」

「………」

キミ子は、うなだれた。

――あの正枝さいふ人と、ほんたうに何の關係もないのかしら？

まだ、疑ひが、胸の中にもつれて、何さも言ひ得ないのだつた。

「へ、、、大變なものが來たもんだ。つまらん！こんな事に、家庭をみだされてはいけない。石田君、キミ子をつれて、さうだね、今度の日曜でも、聞きに行つて來たまへ。岡澄江さいつて、女流聲樂家から招待券が、ちようど二枚、來てるのだが」

「それは、ありがたう」

あす訪日宣詔記念日！

國都を總動員 一德一心を强調

歷史的記念日を永久に奉祝

日滿一德一心の契りはいよいよ固く滿洲國皇帝陛下御訪日宣詔紀念を明二日に迎へ輝く王道治下三千萬の蒼生は擧げてこの歷史的記念日を

奉祝 し、各種有意義な記念行事に回鑾訓民詔書の御精神を再認識するが、此日國都新京に於ける記念式典は協和會首都本部特別市公署、滿鐵新京事務局地方課合作のもとに午前九時三十分から若草萌す大同公園に日滿顯官協和會第一分會、各種團體、滿洲國各學校生徒約一萬餘參列して嚴肅に擧行される、式次第は首都本部永井科長の開會の辭に續いて日滿國旗揭揚、韓市長（滿文）田中滿鐵地方課長（日文）回鑾訓民詔書を捧讀後、田邊首都本部長、于中央本部長の式辭榮崎總領事代理祝辭あつて韓市長の發聲で大日本帝國天皇陛下萬歲、田邊首都本部長の發聲で滿洲帝國皇帝陛下萬歲を唱和、永井科長の閉會の辭を以て終了する、式典終了後訪日宣詔記念日を期して發表された建國體操を意義あらしめるため建國體操を擧行する尚更に記念行事として日滿學校雄辯大會を開催、日人學生は西廣場滿鐵社員クラブで滿人學生は自强小學校にて何れも午後一時から華々しく行はれる、既に募集中の學生作文に發表會は嚴選の上近日中に新聞紙上に發表されるが市公署ではこの佳日をトし一德一心の强調は童心からのモットーに

管內 各小學校より交驩作文を日本六大都市の小學校に送ることになつた、なほ大同公園の式典直後協和會第一分會員の手で順天廣場一角に紀念苗圃の鍬入れが行はれる

西廣場倶樂部で學生雄辯大會

＝演題及び出場者氏名＝

訪日宣詔記念學生雄辯大會は二日午後一時から西廣場滿鐵倶樂部で開催されるが演題及び出場者氏名は左の如くである

▲青年學校＝民族協和と青年の使命（大谷鶴雄）青年よ自覺せよ（窪山勇夫）日滿不可分關係に就て（久世廣行）

▲商業學校＝日滿不可分關係と五族協和（金井弘）日滿の精神的融合を協調して（得山憲）起て吾等學生と雖も（井出賀一）

▲中學校＝題未定（佐藤敏夫）同（趣訪光宗）

公會堂では美術展

審査けふ終る

滿日文化協會主催、文教部後援の訪日宣詔記念美術展覽會は、同展顧問として迎へられた帝院會員藤島武二、安井曾太郎、松林桂月三畫伯によつて一日中に嚴重な審査を完了したのでいよ／＼明二日の記念日をトして一週間記念公會堂及び（油畫及彫刻）大經路小學校講堂（東洋畫及書）を會場に盛大に開催される

あす地鎭祭

訪日宣詔記念塔

回鑾訓民詔書の意義を永遠に象徵する目的を以つて建立せられる訪日宣詔記念塔の地鎭祭は二日宣詔記念の吉日をトし午前九時半から安民廣場前にて嚴肅に擧行せられることゝなつた、式次第は開式に先立ち諸員、來賓、神官の順に着席終つて、修祓、降神、獻饌祝詞奏上、清祓等型の如く行はれついで關東軍參謀長、國務院總務廳長による鍬入式に移り、入江實行委員會委員長を始め奉讚會正、副會長、大使館參事官、關東局總長、營繕需品局長等の玉串奉奠後撤饌全員起立拜禮裡に昇神の儀行はれ入江委員長の挨拶あつて十時半閉式の豫定である

國恩感謝の國旗揭揚式

日比野司令官講演

新京敎化聯盟主催恒例國恩感謝國旗揭揚式は一日午前七時から新京神社境內で擧行された參加者五十嵐鄕軍聯合會會長岩坂同副會長を首め在鄕軍人聯合分會、滿鐵社員會、青年學校生徒一般市民等二千餘名にて開式に先だち新京青年學校創立二週年記念として職員生徒より大國旗を敎化聯盟に寄贈、生徒代表窪山勇夫君より寄贈の辭があり田中敎化聯盟委員長の謝辭があつて開式國歌奉唱の裡に眞新しき大國旗はへんぽんと朝風にひるがへる、一同東方に向つて國恩感謝の最敬禮を捧げ神社を參拜終つて駐滿海軍部日比野司令官の「非常時は外にあらず內にあり古來日本は非常時ごとに躍進をつづけてゐるのである諸氏は非常時に恐れずこれを克服することが最も大事である」といふ意味の有益な講話があり一同に多大の感銘を與へ盛況裡に七時半頃終了した（寫眞は國旗揭揚式に於ける駐滿海軍部司令官日比野中將の講演）

五百の精銳 早曉閱兵分列

青年學校第三回創立記念日

第三回創立記念日を迎へた新京青年學校では一日午前六時から新京商業學校正門前通りで閱兵分列式を擧行した、稻川新京驛長、井上中佐、山口新京署兵事主任その他多數來賓の參觀あり、參加生徒五百餘名は早朝の大氣に鳴り響く喇叭の音も勇しく步武堂々分列を終へ、續いて新京神社にいたり、同校生徒の淨財を蒐めて敎化聯盟に寄附した大國旗の獻納式を擧げ、田中敎化聯盟會長はこれを受領して謝辭を述べ、引續き午前七時から國旗揭揚式に參列した、なほ午後は一時から記念各班對抗武道大會を商業學校講堂で開催、同三時半盛會裡に閉會した

貨物車荒しの竊盜團捕る

昨年七月頃より新京驛構內で貨物車から頻々として貨物の盜難があるので新京署では滿鐵貨物係と協力嚴重犯人を搜査中であつた處本月十日午後七時頃構內徘徊中の支那人李某を發見その場で取押へ取調べの結果李が主魁で外に貨物專門の竊盜團のあることが判明新京署井上刑事は貨物係及驛運轉係員と協力共犯の搜査を開始、廿九日劉及張某を檢擧嚴重取調べの結果昨年七月からの犯罪を一切自白盜品は賣却し阿片、女等に數千圓を費消してゐた事が判明した、これ等竊盜團は常に一定の住所、職業なく惡事を働いてゐたもので、今後かかる不逞の輩は完全に一掃される事となろう、新京署では犯人檢擧に協力した滿鐵驛員の努力に感謝してゐる

三次移民村 匪賊に襲はる

當地着電によれば、綏稜縣拓務省第三次移民部落に、廿七日午後零時頃十數名の匪賊來襲したので、團員は直ちにこれに應戰、激戰の後これを擊退したが、團員山形縣東村山郡出身小林正已（二一）君は壯烈な戰死をとげた

果物籠片手に病床を見舞ふ

梅田青年の日滿親善徹底

鐵北火災美談 後日物語り

去る二十六日瀕死の大火傷をした滿洲國人女を猛火の中から救ひ出し日滿親善を身をもつて實行天晴れ義俠の日本人として謳はれた梅田青年は一日午前十時人に知れぬ様こつそりとみずく／＼しい果物籠を携へて滿鐵醫院を訪れ早や傷も

大分 癒えかけた病床の女を見舞つた異國の人ながら生命の恩人にやさしくいたわられ心からなる感謝の念で感泣する女を力づけ勵ました梅田青年は一時間の後又もや醫院を去つて行つた、あゝ何と云ふ美しい心の持主、すべてを超越した大きな愛の力だ、これはまさしく物質萬能の冷酷な現代社會機構下に於ける一つの奇蹟ではある、この立派な心がけの持主梅田君は最初金華寮主人石井氏に尋ねられた際に鐵道北軍用路三十八號梅田準助と云つてゐたが事實は原籍東京市現住所軍用路三十四號梅田甚助（三十二）で露人の家に下宿してゐる事が判明した

新聞 にあまり書いて下さるなと云ひながら語る梅田青年の言葉はその心掛けの様に立派なものだつた

あの晩私は火事のサイレンと共に友人の家が心配なので作業服を引つかけ表にとび出し現場に行つてみると燒け出された女が一人ゐました、彌次馬などワイ／＼騷ぐだけで誰も助け様としないので私が馬車にのせて醫院につれて行つたのです私は軍隊に行つてゐませんのでせめて軍屬にでもなつて國家に奉公し度いと思ひまして飛行隊に入つて働いてゐましたが、今月の十五日で飛行隊を圓滿退職今は東七馬路の交易自動車公司に働いてゐます、私は軍屬の當時滿人からいろいろ世話になつてゐますのでその御恩返しのつもりでやつたのです、日滿親善は聲だけでなく日本人がもつと／＼滿洲國人を可愛がつてやらねば駄目だと思ひます

オアシス“南湖”六月中に完成

浮島を散在、遊覽ボートも浮ぶ

國都建設局が自然美に惠まれない市民のため一大遊園地を建設すべく五ヶ年計畫中最大事業の一つとして豫算約ヶ五萬圓を投じて特別市黃龍公園に昨春來起工中の周圍一里半を擁する南湖は既に八分通りの進捗、いよ／＼目捷の夏季六月前後を以つて總てを完成することになつた、目下最後の仕上げとして來るべき雨期を控へて牢固な護岸工事を進めてゐるが、建設局其後の計畫によると、この漂渺たる湖面に一萬圓の工事費をもつて數個の浮島を散在せしめて雅趣を添へるべくこれまた近々築造工事に着手の豫定で、スマートな數隻の湖上遊覽モーターボートも兩二、三日中には到着することになつた、同湖を圍繞する幅員八米の垣々たる公園道路築造とともに周圍の濕地帶には花菖蒲を植へ付け、滿々たる湖水の迫る沿岸には無數の浮燈籠を配置するがさらに湖の最長距離を結んで約二千米のボートレースのコースを造る豫定である、唯今七分通りの湖水も雨期とともに滿水し歡樂街の移轉完了を待つてこの一大工事もすつかり完成するわけで附近に躑南嶺を控へて滿る新綠映へる幽華麗な同湖こそ市民のこよなき遊園境として待望される

協和企劃部長 張氏新任

協和會中央本部企劃部長は半田敏治前部長の外遊決定後、一時甘粕總務部長の兼任となつてゐたが今回張煥相氏が正式に後任に就くこととなつた 張煥相氏は宣統元年日本陸軍士官學校に入學、卒業後民國陸軍各地の旅團長等を歷任、省鐵路護路司令、濱江鎭守使の職に在つた、康德元年總務廳囑託となり今日に至つた人である

八島校父兄會

八島小學校父兄會は一日午後一時から總會を開き一時から四十五分間授業參觀、六時から總會に入り前年度決算事業報告本年度豫算審議を行ひ會長以下役員の改選後、映畫を觀賞し午後四時半終了した

櫻木校生 旅大の旅へ

新京櫻木小學校六年生の旅大方面修學旅行團百六名は一日午後三時廿分發列車で多數見送りの諸先生父兄に送られて出發した

三笠校生 あす旅大へ

新京三笠小學校大連修學旅行團九十七名は二日午後三時二十分發列車で出發の豫定である

大山法務局長

大山陸軍省法務局長は滿洲視察のため一日午後六時二十分着あじあで來京、國都ホテルに投宿の豫定である

全滿商議理事會

全滿商工會議所理事會は來る十一日新京に於て開催されることゝなり、各地理事參集の上近く公布をみる滿洲商工會議所法に關し種々打合せを行ふはずである

增永總督府法務局長

朝鮮總督府法務局長增永正一氏は八日安東發列車にて出發奉天、新京、吉林、哈爾濱大連、旅順各地視察する

末次大將動靜

三十日午後九時三十五分着列車で來京した海軍大將末次信正氏は一日午前九時ヤマトホテルを出で駐滿海軍部林副官の案內にて駐滿海軍部を訪問新京神社、忠靈塔を正式參拜し關東軍司令部に植田軍司令官を訪問挨拶を述べ滿洲國々務院、外交部、軍政部等を訪問した

新京取引所 立會時間變更

新京取引所立會時間は五月一日から前場を九時三十分から十一時三十分、後場を二時から三時三十分までに變更した

長野縣人會

長野縣々人會は二日午後四時半から記念公會堂に於て擧行せられる

アラメダ軍の試合日程

アラメダ來るの報にファンを熱狂させ新春早々內地の人氣を集めてゐる米國アラメダ州在留の第二世をもつて組織されてゐるアラメダ軍がいよ／＼來京快技を振ふことゝなり早くも人氣を集めてゐる、一行は途中各地で試合をしながら五月下旬來京六月一日電々二日電業、三日滿洲國と決戰し日程が許せば新京倶樂部とも交戰する豫定である

電業對國際野球

電業對國際運輸野球戰が五月十日電業球場で擧行される

新京組合敎會

五月二日（日）午前十時半禮拜說敎『失ひしを尋ねて』高橋三
同日午前九時より日曜學校あり
會場老松町普通學校正門前

日本基督敎會

午前十時半から演題「はかるべからざる愛」石川牧師
午後八時から演題「七度を七十倍するまで」石川牧師
日曜學校午前九時より
聖書學校午前九時五十分

日本メソヂスト

日曜學校午前八時四十分
聖日禮拜午前十時說敎「神ながらの道とキリスト」山口牧師
共勵會「更新禮拜」
聖書硏究會水曜午後七時半

日の出を拜す集

あす（日曜）新京日の出時刻午前五時三十分西公園誠忠碑前、午前七時市民早起會行事終つて忠靈塔參拜

あす（五月二日）

▲訪日宣詔記念式典、午前九時半、大同公園
▲訪日宣詔記念塔地鎭祭、午前九時半、安民廣場
▲末光部隊創立記念祭、午前八時半
▲中等學校辯論會、午後一時西廣場小學校及大經路小學校
▲日滿敎育聯合會學藝大會、午後一時、八島小學校
▲王道書院發會式、午後三時軍人會館
▲訪日宣詔記念美術展、公會堂及大經路小學校
▲訪日宣詔記念武道大會、午前八時、白菊小學校
▲ラグビー、政府對電業、午後三時、南嶺球場
▲野球、鞍山對電業、午後五時、西公園球場
▲遊覽飛行、午後一時、飛行場
▲競馬
▲飛田警部出發、午後九時五十分
▲陸上競技講習會、午後一時十三時、中銀グラウンド

◎今晚の主なる演藝放送◎
▲八・〇〇落語「花見の仇討」三遊亭圓生▲八・五五俗曲・竹彌外▲九・〇五漫才「蚊學」林田十郎外▲一〇・一〇筝曲・中島雅樂之都外

吹奏樂團聯盟 州外合同第一回演藝會

滿洲吹奏樂團聯盟州外合同第一回演奏會は五月一日午後六時から撫順公會堂で開催することゝなつたが、新京滿鐵ブラスバンドは指揮者加藤哲之助氏が引率して一日午前零時の列車で出發したプログラムは左の如くである

△奉天滿鐵吹奏樂團 指揮 西村芳之助
一、序曲 名譽の勳章 ガルバー作曲
二、金と銀 圓舞曲 レハール作曲
三、越後獅子 長唄 西村芳之助編曲

△新京滿鐵吹奏樂團 指揮 加藤哲之助
一、行進曲 立派な兵隊 大沼哲作曲
二、圓舞曲 四月の風光 デペール作曲
三、接續曲 軍歌集 加藤哲之助編曲

△撫順炭礦吹奏樂團 指揮 石丸堅介
一、歌劇 イルトウロヴアトーレ ヴエールデイ作曲
二、圓舞曲 メリーウツド レハール作曲
三、第六交響樂 第一樂章 ベートーベン作曲

△合同演奏
一、行進曲 スペヤミント チユリヌ作曲
二、接續曲 南米植民歌集 陸軍々樂隊編曲
三、圓舞曲 滿洲の曠野 陸軍々樂隊作曲
四、行進曲 威風堂々 陸軍々樂隊作曲

ソ聯演劇祭に 小林城戸兩氏招待

ソウエート・ロシアの年中行事の一つ、演劇祭は本年もいよ〳〵九月一日から廿日間に亘り世界各國のエキスパートを招待しモスクワを中心に開催されるが、日本からの出席者はこのほど演劇、映畫界功勞者として松竹專務城戸四郎、東寶社長小林一三、早稻田演劇博物館長河竹繁俊、演出家園池公功の四氏が決定駐日ユレニエフ大使を通じて前記四氏へ正式に招待狀を發した、同演劇祭のプログラムは一日から十日迄がモスクワで各演劇團體の競演及び各國出席者の講演、十一日から十日間は地方有力都市で擧行されるものである、日本からは一昨年秋田雨雀、上山草人兩氏が招かれて出席して以來、昨年は訪露を中止してゐたもの、今度は四氏も快諾することゝならう、何しろ映畫界は宿命の松竹、東寶戰の眞最中のことだけに小林、城戸兩氏呉越同舟で國賓として乘込む圖は興味深い

總工費八十萬圓 PGLスタヂオ增設

PCL製作所では過般の重役會の結果、總經費八十萬圓を投じ、大增設を斷行することゝなつた、增設全貌は、擴張敷地約一萬坪は既に買收、登記手續を完了スーパーミツチエル以下の機械も註文濟みで、この增設、擴張の結果は製作能率が倍加、月五本の增産が行はれる譯である、基礎工事は五月早々着手、六月中旬起工して八月中に完成秋シーズン開幕と共に、ステーヂを使用する筈であるが、この結果は全プロ編成の希望も豐富となり、堂々四社聯盟との抗爭も可能となるので『戰は秋から』と稱してゐるから秋シーズンの激戰は大いに期待されてゐる

天然色映畫二本

總天然色沙漠の花園を提供したセルズニツク・インターナショナルでは更に天然色映畫「アラビアン夜話」「スタア誕生」の二本を撮ることゝなり「スタア誕生」は監督ウヰリアム・ウエルマンでクランク開始された、主演にはフレデリツク・マーチにジャネット・ゲイナーが顔合せる他有名なゴールドヰンの與女通が出演すると

良人の貞操（後篇、ふたゝび）

△△東寶入江プロ提携第三回作、おさへ切れぬ情熱のかるがまゝに遂に越えてはならぬ一線を越えた加代と信也の行手は そして親友に裏切られた邦子のその後はどんな舞台の上に悲劇を奏でるであらうか、前篇「春來れば」の後をうけて同じく山本嘉次郎監督、木村千依男、山本嘉次郎脚色、三浦光雄のキャメラ、高田、入江、千葉その他のキャストを得て期待を偏る、豐樂劇場新京キネマ六日封切

サボテン

本日はサボテン科專攻學生諸君のために特にカフエー考現學を開講致します、そも〳〵國都にてカフエーと稱する資格を持つ存在は一體幾何程あるかと言ふと、即ちその四十有八もあると言ふことは、サボテン欄が書いても書いてもネタ切れとなる心配が絕對にないと言ふことを證明するものであつて本科のため誠に慶賀に耐へない次第である▼次にその名稱であるが、とにかく銀の字のつくのが七軒にも達するといふことは如何なる現象であるか、新京マンは金よりも銀が好きなのか、此の點特に諸君の一考をわずらはしたいところである▼次に電話であるが、三本の電話を設備してせめてものファンの眷顧に酬いんとする店は一軒、二本が二軒、一本が四十と四軒一本もないのがたつた一軒なか〳〵よき心掛と言ふ可きである、次にア、…詳しくは二十九日朝刊八面をみて呉れ給へ

雜音

長春座二日よりの番組は「紅屋蝙蝠」「お美美の評判」「めをと大學」の松竹二番線にメトロの「極樂發展クラブ」を配した四本立編成、例によつて量で賣る短期プロ▼次いで四日より「入婿合戰」「らくだの馬」「總州俠客傳」が登場に及んで「桃子の貞操」までの二番の效果を攝る▼二番線を惜しげもなく無視して來た何處かの館など見習ふがよろし▼帝キネは次週「極樂テムプルの愛國者」と「双兒合戰」を組んだ、萬人向きの喜んで貰へるあたりが强味であらう

日曜 己丑 赤口 收 房宿 舊三月二十二日 五月二日

●一白の人 交渉取引遠方とは差支なきも内事には注意 丁と庚と辛が吉
●二黑の人 萬事に平靜を保ち得れば其にて滿足する日 甲と丙と寅が吉
●三碧の人 靜したる氣分も次第に晴やかに勇氣加はる 甲と庚と壬が吉
●四綠の人 他事には係はらず家業大切と勵めば幸あり 甲と乙と庚が吉
●五黃の人 利益は薄く氣乘りせずとも怠らず勵むべし 甲と丙と寅が吉
●六白の人 元氣盛るゝ日多少の無理も通る文書に注意 丙と壬と癸が吉
●七赤の人 多少の障礙あつても突進勇躍するが勝なり 丁と壬と癸が吉
●八白の人 身の不幸を嘆かず天を恨まず自重するが吉 甲と丙と寅が吉
●九紫の人 浮薄に流れず實收を目的に進むべき幸運日 乙と辛と庚が吉

全滿の日本資本工場
前年より五割増
工業會加盟社資本額は四億弱

滿洲國の礎は愈よ確固たると共に將來が期待されてゐるが、この著しい發展を目指して日本資本工場の進出は極めて順調に伸張してゐるが、本年三月三十一日現在に於ける全滿の日本資本に依る工場（滿洲工業會加盟）及び資本金額は次の通りで即ち社數計七十二社この公稱資本金額に實に三億九千九百二十九萬圓拂込資本金三億二千九百十三萬七千圓に達しこれを前年同期現在に比較すれば五割方の激增にして滿洲國の躍進に伴ふ日本資本の華々しい進出振りを如實に物語つてゐる

採油用原料	一、〇九八
自動車及同部分品	一、四二八
油粕	一、二六二
小麥	一、一四八
揮發油	一、〇七八
銅類	二、六八二
麻	一、九八六
砂糖	一、七八五
その他	二五、〇六一

爲替管理の影響で
日本入超減ず
輸出は引續き好調を示す

【東京國通】下旬貿易は輸出が引續き好調を示した一方毎旬增加傾向を辿りつゝあつた輸入が漸くその增勢をそがれるに至つたので、入超額は僅かに七百餘萬圓と前旬に比し三千百餘萬圓の減少に轉じた輸入の減少傾向は爲替管理の影響が現はれたのと棉花が季節的に峠を越した關係で、今後二、三旬はたほ引續きこの傾向を辿るものと豫想されてゐる

鐵	一〇、五五六
原油及重油	三、七〇七
機械類	四、七七三
豆類	二、七〇五
生ゴム	二、八六四
パルプ	一、〇〇三
木材	一、八一五
石炭	一、三九一
鋼	一、八五八
銑安	五三〇

四月下旬の
對外貿易概算

【東京國通】大藏省發表四月下旬對外貿易概算左の如し（單位千圓）

△輸出　一〇〇、八七二
△輸入　一〇八、一五五
△合計　二〇九、〇二七
△入超　七、二八三
△一月以降累計入超　三九六、二四二

なほ重要品輸出入額左の如し

△輸出

綿織物	一四、五六九
生糸	一〇、九三八
人絹織物	三、六三二
鐵	三、七七二
機械類	三、三二五
罐詰食料品	二、九三五
絹織物	二、〇六三
メリヤス製品	一、五〇二
毛織物	九七一
植物油	一、五七一
陶磁器	二、〇七五
綿製品	二、二九七
鐵製品	一、五三四
玩具	一、二〇〇
人絹糸	一、五二九
紙類	一、〇五六
木材	一、〇〇七
製糖	一、八三五
帽子	一、七三三
小麥粉	三、三三〇
その他	七、五九八

△輸入

棉花	二三、一三三
羊毛	一、五九〇

日鐵と日滿商事で
販賣會社新設か
日滿銑鋼の一元的統制成らん

日滿銑鋼の一元的販賣統制は內地の鋼材價格統制に對する具體案樹立された現在一日も早く實現を計るべきであり伍堂商相は滿洲側の三滿、岸兩代表及び中井日鐵社長を招致し具現策を協議したが今日までの折衝の結果を通じて見れば日滿商事は滿洲國內に於て生產した鋼材は勿論內地から輸入される鋼材も一切同商事會社で扱ひ而してこれが販賣價格も日鐵と同樣に決定する事に方針決定したるに鑑み日鐵と日滿商事が均等に株をもち、販賣會社を新設、これによつて一元化を計るものと見られ具體案に關しては改めて日鐵と日滿商事が交渉し統制の實現を計ることゝなつてゐる

彌生會進出に
滿鐵の見解

內地車輛會社で結成されてゐる彌生會の滿洲進出計畫に對し滿鐵では次の如き見解を有するものゝ如くである即ち滿洲に於ける新線建設事業の續く限り年々相當數の車輛製造は絕對的に必要であり滿鐵では此の點に鑑みて沙河口工場を初め哈爾濱、三果樹工場その他鐵道工場の施設を擴張改善し或る程度の車輛新造能力を保つことゝし目下研究中である彌生會が滿洲に工場を新設することは贊成であるが之に對して滿鐵が今後何ヶ年どれだけの車輛を注文するといふ予約は出來ない同時に現に車輛を製造してある現地工場即ち滿洲工廠の年產一千輛に及ぶ能力を無視することは出來ぬとしてゐると見られてゐる

奉天工事界
材料高で遲延

鐵鋼材の暴騰を初め各種建築材料の昂騰に依り解氷期けの奉天土建界は予想外の不況を示してゐる、即ち奉天地方事務所の如きは工事日程に大番狂はせを生じ目下更生予算編成に大童となつてゐるが例年に比較して約一ヶ月着工が遲れてゐる同事務所の本年度建築事業費は約百萬圓で主なるものは大東區分教場獨立による校舍新築三十萬圓、靑年學校新築十五萬圓、保養院建設十五萬圓、獸疫研究所增築十五萬圓その他第二中學校、朝日高女の增築等であるが何れも昨年設計し予算を編成したものである

滿鐵明年度の投資
新鐵道が中心
關係會社投資も增大せん

滿鐵十三年度の事業投資は新線建設及び既設線改良を中心とする滿洲國鐵道投資が中心となり大體十二年度と大差なく社內特別事業は僅かに撫順に於ける發電所新設併合、露天掘事業を殘すのみで十二年度中に完成され一方社外投資中關係會社投資は更に飛躍的に增大するものと見られ民間拂込み資金なく政府拂込二千萬圓乃至三千萬圓が予想され同社社債發行も前年と大差なく一億二千萬圓內外と見られてゐる

大連中央郵便局
新築の計畫

近代的な容姿を誇る新大連驛は愈よ六月一日より業務取扱を開始するが同新驛の出現により日本橋際の現大連中央郵便局の機能を發揮する上に遺憾の點があるので遞信局では現局舍を電々管理局に讓渡、新たに新大連驛前にモーダン局舍を建築すべく本年度豫算七萬圓の通過を見たがこの程に至り最初案の同局舍敷地は新驛に通ずる右翼自動車路に接近し過ぎ新驛の美觀を害ふおそれがあると共に窓口事務にも勘からざる不便があるので大體現在の大連會館のある場所附近に敷地を變更することゝなりこの程監督官廳へ申請した、尙同設計は遞信省に依頼し敷地決定次第本年度は地均し工事を施し十三年度一杯に竣工の豫定である

一日開港式擧行の
壺蘆島港素描
大連につぐ有力開港場

壺蘆島港は一日午前十時日滿朝野の名士多數參列の下に開港式が擧行され、いよいよ大連港につぐ有力開港場として華々しくデビューすることゝなつたが、この機會に壺蘆島港の沿革、現況、將來に亘つて概述して見る

△沿革

壺蘆島築港の沿革は眞に同港波瀾の歷史である、奉山線連山站より十二粁、天然の良港であり、又不凍港でもある同地は古くから開港場として目されてゐた、事變前における壺蘆島の築港は三期に大別される

その第一次計畫は明治四十一年東三省總督徐世昌が先づ築港の企圖を有し、後英人ヒューズ技師を聘して豫算英貨八十萬磅を計上、六ヶ年計畫を樹立したが、革命勃發その他により中止となつた、この計畫は地理的優勢により大連港の商圈を侵審し、又不凍港の故を以て多季の營口貿易壟斷することを目的としたことは云ふ迄もない

第二次計畫は大正九年發より問題となり、北寧鐵道の利益金より五〇〇萬元、奉天省々庫より五〇〇萬元、計一、〇〇〇萬元を以て築港資金の醵出計畫成り工事に着手せんとしたが、之亦大正十二年の奉直戰に遭遇して中止となつた

更に第三次計畫は昭和五年張學良政權と和蘭築港會社との間に商議纏まり、請負金額を米貨六四〇萬弗、工事期間を五ヶ年半として同年七月二日起工式を擧げた、時恰かも東北政權が東北交通委員會を動員して滿鐵包圍大連拮抗の政策を强化しつゝあつた時代で彼等はこれが完成に大なる期待を賭けてゐたのであるが、九、一八事變の勃發に依りこの計畫も亦中止さるゝの已むなきに立至り、その結果は準備用として既に建てられてゐた事務所、病院、發電所、社宅および警備兵舍等計四二棟は滿洲國の管理に屬することになつた

△現況

壺蘆島港の現在の吞吐能力は六萬噸程度と見られ、康德二年度の輸出入貨物は僅か一萬八千噸であつたが、三年度に入つては比較的好調を辿り、每月平均五千噸を吞吐してゐる、而して康德三年秋斷行された全滿鐵道一元化の結果、從來滿鐵および鐵路總局において行はれてゐた水運業務は擧げて新設の鐵道總局におて經營する事となり大連、北鮮兩港の外に新たに壺蘆島を滿洲三大港の一として登場せしめ、三大港併用主義を確立し第一期計畫を完成した羅津築港への建設能力を一切壺蘆島に振り向けて康德三年末より五ヶ年計畫をもつて目下同港の大築港工事が着々進步しつゝある

△將來

新立屯より阜新炭鑛を通過して熱河に至る新義線は壺蘆島港の隆盛を約束する動脈として本年より假營業を開催した同線は撫順と共に滿洲における二大炭鑛の一として將來の發展を豫想されてゐる阜新炭鑛の運炭を主要目的とするものである、同炭鑛の埋藏量は五十億噸といはれ、本年度より大々的に採炭に着手されるが出炭施設の完備と共に兩三年後には年產三四百萬噸の出炭を見る豫定であつて、壺蘆島築港の完成と共に熱河、錦州兩省の物資輸出入ならびに阜新炭の輸出により壺蘆島港の將來は正に洋々たるものがある

土建ニユース

▲奉天東區小學校新築工事　●滿鐵地方部
決定工事　一二一、四〇〇、〇〇　上木組
落札　十二萬四千五百圓
▲灯火管制に伴ふ大石橋外八ヶ驛構內配電線路改築其他工事　●大連鐵道事務所
一三、七〇〇、〇〇　今井組
一三、八〇〇、〇〇　長谷川組
一三、〇〇〇、〇〇　高岡組
示談　八千百七十七圓十三錢　電業公司
▲中試高周波電氣爐新設は伴ふ誘導電壓調整器新設其他工事
落札　五百五十圓　共榮商會
▲大連圖書館閱覽室其他壁ペンキ塗替工事　●大連工事々務所
八〇八、三三　弘電社
豫特　七百七十五圓
落札　二千二百八十圓　小松塗裝店
▲乃木町各社宅網戶取設工事　柿崎組
二、三〇〇、〇〇　新京阿川組
二、四七〇、〇〇　前田組
▲大連圖書館閱覽室床リノリーム敷替工事
豫特　四百八十二圓八十九錢　品川洋行
▲大連埠頭廣場交通標識其他塗替工事　●埠頭保線區
特命　六十四圓四十四錢　兒島塗裝店
▲吉林大路全安橋東盛大街間小舖石舖裝及下水工事　●國都建設局
落札　二萬三千六百五十圓　福昌公司
二三、九〇〇、〇〇　東亞土木
二四、八〇〇、〇〇　榊谷組
二五、〇〇〇、〇〇　高岡組
▲和平街道路道型暗渠築造及小舖石舖裝並雨水桝築造工事
落札　二萬八千五百六十五圓　岡組
二八、五〇〇、〇〇　大林組
二九、〇〇〇、〇〇　大倉組
二九、八〇〇、〇〇　東亞土木
三〇、八〇〇、〇〇　福昌公司
▲海城支行改築工事　●中央銀行
落札　六千九百五十圓　川畑組
七、四〇〇、〇〇　今井組
七、五〇〇、〇〇　辻組
▲青雲寮天井其他修理工事
落札　六百七十圓　齊藤組
七〇〇、〇〇　杉山組
八〇〇、〇〇　高山組
▲總裁裏宿舍改造工事
落札　千二百三十圓　辻組
一、二五〇、〇〇　杉山組
一、三〇〇、〇〇　倘厚溫
▲新京保線區新京驛構內旅客地下道修繕工事
豫特　三十六圓　吉備洋行
▲新京驛構內旅客ホーム舖裝其他修繕工事
落札　百〇五圓　森本組
一二五、〇〇　岡本組
▲新京檢車區職場旋盤並穿孔機据付其他工事
示談　百五十圓　森本組
一三六、〇〇　岡組
一五〇、〇〇　宮崎鐵工所
予告工事　一八〇、〇〇　右同
●國都建設局
▲淨月潭石堤溢水路改築工事
開札　五月三日　午前十時　●灰礦會社
▲阜新教習所校舍及寄宿舍新築工事
開札　五月三日　午前十時
▲北票專用鐵道東礦線（第一礦區）建設工事
開札　五月三日　午前十時
▲北票專用鐵道東礦線（第二礦區）建設工事
開札　五月三日　午前十時

滿洲國の重要產業統制法は愈よ公布を見た▲指定された部門が嚴重な監督下に置かれるのは當然の事ながら指定產業以外の部分と雖も基礎的にはこの國の全體的な經濟計畫の中に置かれるものである事を忘れてはならぬ▲この法制公布に際しても思ふのは、從來の獨占的特殊會社等に向つて放たれた非難の事である、重要な使命の負託を受けた側に於いては、一層かかる非難を生ぜしめぬやう努める用意があるべきであらう▲法の效果發揮は運用如何にかかはるとの見方は正しい

商況欄
（四月一日前場）
海外經濟電報

倫敦銀塊	二〇片四分一
同先限	二〇片一六分五
同金塊	七磅〇志三片二分一
紐育銀塊	四五仙〇〇
同金塊	三五弗〇〇〇
倫敦爲替	五二留比二分一
英米爲替	四弗九四仙七二
日米爲替	二八弗八七仙
米支爲替	三〇弗〇〇〇
スチール株	一〇一弗一分一
アナゴンダ株	五一弗八分七
日英爲替	一志二片〇〇
英支爲替	一志二片一六分九

▲米棉

日印爲替　七七留比二分一

現物	一三仙五一
五月限	一二仙九七
七月限	一三仙〇一
十月限	一二仙七七
十二月限	一二仙七四
一月限	一二仙七七
三月限	一二仙七九

▲印棉

ブローチ	二二六留比
オームラ	二一三留比
ペンゴール	一八二留比

▲市俄古小麥

五月限	一弗三一仙八分五
七月限	一弗一九仙八分三
九月限	一弗一七仙二分一

▲カルカッタ麻袋

實筋	二五留比八分五
織筋	二二留比八分七

金銀市況

●上海標金　本寄　二〇〇、〇〇　步　[illegible]

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向	第一回賣	一〇三、七五
	第二回買	一〇四、〇〇
▲倫敦向	第一回賣	一志二片一三分一
	第二回買	一六分九
▲紐育向	第一回賣	二九弗一六分三
	第二回買	八分七

▲大連爲替

▲上海向　九六、二〇

▲阪神日米爲替

賣　二八弗一六分三　買　八分七

▲阪神日英爲替

賣　一志二片三分二　買　一志二片〇〇

各地株式市況

▲東京株式（短期）

	寄付	大引
東新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式（短期）

	寄付	大引
東新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]

▲大連株式（短期）

	寄付	大引
五品	[illegible]	—
豆新	[illegible]	—
東鐵	[illegible]	—
滿新	[illegible]	—
同新	[illegible]	—
日產	[illegible]	—
鐘新	[illegible]	—
日新	[illegible]	—

▲奉天株式（短期）

	寄付	大引
滿取	[illegible]	—
東新	[illegible]	—
大新	[illegible]	—
日產	[illegible]	—
五品	[illegible]	—
豆新	[illegible]	—
鐘毛	[illegible]	—
滿先	[illegible]	—
優新	[illegible]	—
滿甲	[illegible]	—
同乙	[illegible]	—
電拓	[illegible]	—
東斯	[illegible]	—
瓦業	[illegible]	—

各地商品市況

▲大阪棉糸

	寄付	大引
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]

▲大阪棉花

▲大阪人絹

	寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

新京取引所市況
（四月一日前場）
現物（一石値段）

	寄引	出來高
大豆	—	—
高粱	—	—
小豆	—	—
玉蜀	—	—
先物	—	—
●大豆 五月限	[illegible]	一三車
六月限	[illegible]	四車
●高粱 五月限	—	—
六月限	[illegible]	三車

各地特產市況

▲大連　大豆

	寄付	大引
袋入	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
三等現物	—	—
●豆粕 同	[illegible]	[illegible]
現物	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	—	—
●豆油 現物	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	—	—
七月限	—	—
八月限	—	—
九月限	—	—

新京日日新聞
朝刊
本紙朝夕刊十二頁

開票第一日終了
全國を通じて氣乘り薄
社大の素晴らしい躍進

【東京國通】總選擧投票の結果は豫期された如く全國に亘つて棄權率が非常に增大し頗る香しからぬ投票成績を示してゐる、これは勿論都市と農村によつてその原因を異にするものがある、府縣都市とも例外なく全國的に棄權多く、その理由は選擧に對する氣乘り薄の一言につきると見る外ないであらう、斯くて政府の棄權防止に對する努力も水泡に歸した譯で甚だ面白からぬ現象を呈した、都市に就てみるに全國各都市とも棄權率著しく增大し、六大都市中最も甚しいのは大阪で棄權率五割一分五厘、有權者の半數以上が棄權したと言ふことは全く驚くべき實情である、最も少いのが名古屋市で二割九分八厘といふ成績で、六大都市を平均すれば棄權率三割九分二厘といふ（前回平均三割一分九厘）高率を示し、全國的棄權率增大の原因が單に地方の農繁期といふに止まらず、今回の「[illegible]」が都市、農村を通じて一般に氣乘薄であつたことを物語る好個の材料である、午後四時迄の集計によれば民政は當選者五十八名の成績でリードを續け、政友卅六で之に追隨してゐるが兩派とも番狂はせの續出に今後の豫擬を樹てかね、第一黨爭ひが俄然興味の中心となつてゐる、一方社大は異常の躍進振りで候補者悉く當選圏に肉迫し既に十七名の當選者を出して意氣軒昂たるものがある、これに反し昭和會は僅に三名、日本無產、養正、政革各一、國同、東方は未だに姿をみせずともに前途をトするに足らず、たゞ中立がかなりの成績をあげ、五名の當選者を出し都市開票が多いとはいひながら時代色を濃厚に漂はしてゐる

當選決定者氏名

關東、東北地方

▲東京一區（定員五名）
河野　密（社前）一四七九八
原　玉重（民前）八一七三
本田義成（政元）七八七九
高橋義次（民元）七六六三
濱家齊一郎（中新）七五三一
次點 立川太郎（政前）六六二

▲東京四區（定員四名）
阿部茂夫（社新）一二〇九六
眞鍋儀十（民前）一〇一九二
瀧澤七郎（政新）八三五二
朴　春琴（中元）七九一五
次點 太田信治郎（民前）七八九五

▲東京五區（定員五名）
麻生　久（社前）三四一四三
加藤勘十（日無前）三二九一四
斯波貞吉（民前）二八五九九
三輪壽壯（社新）二七八四七
牧野良男（政前）二五〇二三
次點 大橋清太郎（民新）二四三八五

▲東京六區（定員五名）
鈴木文治（社前）四〇〇四四
前田米藏（政前）三八八七一
山田　清（民新）三七一六七
中村梅吉（民前）三三七〇四
田中　源（政前）二七三五三
次點 中村繼男（國元）二二六九九

▲東京七區（定員三名）
八並武治（民前）一四六六四
中村高一（社新）一四一三三
津雲國利（政前）一二八九六
次點 坂本一角（政元）一二五七一

▲神奈川一區（定員三名）
岡崎　憲（社前）二六一四二
飯田助夫（民前）二〇〇七四
野方次郎（政元）一九四九四
次點 山邊德五郎（民新）一六八四一

▲神奈川二區（定員四名）
小泉又次郎（民前）一九三六九
片山　哲（社前）一八八〇〇
小串清一（政新）一二八〇九
野口喜一（政新）一一九〇九
次點 野田武夫（民前）一一五一〇

▲神奈川三區（定員四名）
河野一郎（政前）二五〇五八
鈴木英雄（政元）一四五四五
平川松太郎（民前）一四四〇四
岡崎久次郎（民前）一一六〇九
次點 胎中楠右衛門（政前）一一二六六

▲千葉一區（定員四名）
多田滿長（民前）二三三七一
篠原陸朗（民前）一八五三三
成島　勇（民新）一七二三一
川島正次郎（政前）一五九二〇
次點 富田　照（中新）一五九二〇

▲千葉二區（定員三名）
今井健彦（政前）一八六六二
吉植庄亮（政前）一七五〇四
宇賀四郎（民新）一〇〇七五
次點 鵜澤宇八（民前）九四七七

▲千葉三區（定員四名）
岩瀬　亮（政前）一八九二三
小高長三郎（政前）一三九七四
土屋清三郎（民前）一三二五七
池田清秋（民前）一一九五〇
次點 吉野力太郎（政新）一〇八六五

▲埼玉一區（定員四名）
松永　東（民前）二七一六五
宮崎　一（政前）二四八三九
高橋泰雄（政前）一六七一五
松永義雄（社前）一六〇二二
次點 鈴木康太郎（民前）一四八九九

▲埼玉二區（定員四名）
高橋守平（民前）二〇七五四
横川重次（政前）一五七二四
石坂養平（政前）一三四一七
坂本宗太郎（中新）一〇一三二
次點 澁澤治太郎（民新）九二二一

▲埼玉三區（定員三名）
野中徹也（國前）二〇〇〇七
出井兵吉（政前）一七八六七
古島義英（民元）一三九一七
次點 門田新松（政前）八六一五

▲群馬一區（定員五名）
中島知久平（政前）二二一九一
青木精一（昭前）一九三九〇
須永　好（社新）一八二三二
飯塚春太郎（民前）一五七三五
清水留三郎（民前）一五〇一九
次點 生方大吉（民前）一四一六九

▲群馬二區（定員四名）
篠原義政（政前）二〇二一四
最上政三（民前）一七二八七
木檜三四郎（民前）一五六七二
木暮武太夫（政前）一四二三五
次點 林　興重（國新）九七〇三

▲栃木二區（定員四名）
森下國雄（民前）一八七七二
松村光三（政前）一八三八七
小平重吉（政新）一五八六九
木村淺七（民前）一三九五四
次點 上野甚三（政元）一〇〇九四

▲茨城一區（定員四名）
内田信也（昭前）一八〇四三
中崎俊秀（民前）一六七一九
豐田豐吉（民前）一五〇九八
葉梨新五郎（民元）一一一二三
次點 小澤　治（政元）九二六四

▲茨城二區（定員三名）
中井川浩（民前）一九三七七
川崎巳之太郎（政元）一三五六四
大内竹之助（政新）一二五九七
次點 石井三郎（昭前）九七一〇

▲茨城三區（定員四名）
風見　章（中前）二四七七八
赤城宗德（中新）二四一九六
佐藤洋之助（政前）一七三九九
飯村五郎（昭前）一五九八八
次點 山本粂吉（民前）一五七六四

▲宮城一區（定員五名）
内ヶ崎作三郎（民前）二一三六五
菊地養之輔（社新）一六〇二七
庄司一郎（政新）一三八七三
守屋榮夫（昭前）一三四〇〇
菅原　傳（政前）一三〇〇三
次點 宮澤清作（政前）一一六三〇

▲宮城二區（定員三名）
村松久義（民前）二〇五五九
小山倉之助（民前）一七三五九
大石倫治（政前）一五九〇二
次點 内海安吉（昭新）一一五八一

▲青森一區（定員三名）
小笠原八十美（政前）一六五六九
工藤鐵男（民前）一七一四三
森田重次郎（民新）一七一二七
次點 藤井達二（政前）一一三九〇

中部、近畿、四國

▲青森二區（定員三名）
小野謙一（東新）一五〇三四
對馬粂太郎（政新）一一八一
工藤十三雄（政前）一〇二九四
次點 菊池良一（民前）八五二五

▲靜岡二區（定員四名）
山崎劍二（社前）一五九二〇
鹽川正藏（政新）一二九八九
高木粂太郎（民前）一二一〇五
春名成章（昭前）一一六九〇
次點 勝又春一（政前）一一四九〇

▲愛知一區（定員五名）
塚本　三（[illegible]新）二三四六二
小山松壽（民前）二三〇八六
服部崎市（民前）一九〇一五
椎尾辨匡（中前）一八四九六
山崎常吉（愛國無新）一六八七五
次點 加藤鐐五郎（政前）一六一一〇

▲愛知二區（定員三名）
安藤孝三（中新）二六三二一
樋口善右衛門（政新）二四五八九
丹下茂十郎（政前）二二八八五
次點 服部英明（民前）一〇九二九

▲愛知三區（定員三名）
加藤鋼一（民前）一六三七二
瀧　正雄（中前）一五一八三
渡邊玉三郎（民前）一四六八四
次點 内藤守正（民新）一三三七六

▲愛知四區（定員三名）
大野一造（民新）二七三三八
岡本實太郎（民前）二〇九六三
小笠原三九郎（政元）二〇二七八
次點 小林（政前）一七九二三

▲愛知五區（定員三名）
鈴木正吾（國前）二〇三六〇
大口喜六（政前）一五九六三
杉浦武雄（東前）一〇六三四
次點 近藤壽市郎（政元）八四二八

▲長野二區（定員三名）
小山邦太郎（民前）一八一一七
小山　亮（中前）一三六七一
羽田武嗣郎（政新）九九八七
次點 鷲澤與四二（中元）九三一七

▲長野四區（定員三名）
植原悅二郎（政前）一六四四八
西瀬　渡（民前）一四二八一
田中　耕（養前）一一三九三
次點 棚橋小虎（社新）九六六九

▲新潟二區（定員四名）
高岡大輔（國前）一八六一〇
佐藤與一（民前）一二六五七
松木　弘（政前）一一八五七
小柳牧衛（民前）一〇〇三八
次點 玉井潤次（日無新）八九九九

▲富山一區（定員三名）
高見之通（政元）二三五五四
寺島權藏（民前）一七六六六
野村嘉六（民前）一七三〇六
次點 石坂豐一（政前）一五六四七

▲富山二區（定員三名）
卯尾田毅太郎（民新）二九九〇三
松村謙三（民前）一八三九一
土倉宗明（政前）一七三一五
次點 島田七郎左衛門（政前）一六四三一

▲大阪五區（定員四名）
杉山元治郎（社前）三七六六五
勝田永吉（民前）二七四八六
田中萬逸（民前）一八七八九
曾和義弌（政新）一四一〇九
次點 高松正道（中元）一一四八八

▲大阪六區（定員三名）
井阪豐光（昭前）一八八四〇
松田竹千代（民前）一八二九九
南　鼎三（政元）一五三五九
次點 白畠正造（民新）一〇四二八

▲京都一區（定員五名）
水谷長三郎（社前）二四三三五
中村三之丞（民前）一七一八一
福田關次郎（民前）一二二六一
西村金三郎（民前）一一九八九
江羅直三郎（政新）一一三三六
次點 川橋豐治郎（民前）一〇〇〇七

▲京都二區（定員三名）
川崎末五郎（民前）二〇一〇一
池本甚四郎（民前）一六〇六〇
田中　好（政前）一五四六七
次點 田中義男（社新）一三一六三

▲和歌山一區（定員三名）
松山常次郎（政前）一八五四二
木本圭一郎（政元）一五〇八七
西田郁平（民前）一一六一一
次點 志波清太郎（民新）八八九二

▲兵庫一區（定員五名）
河上丈太郎（社前）二二八八八
中井一夫（政前）一八六三五
永江一夫（社新）一八一八〇
野田文一郎（民前）一三六三九
濱野徹太郎（民前）一一九九五
次點 中　亥歳男（民前）一一二二八

▲兵庫二區（定員四名）
前田房之助（民前）二五六一五
米窪滿亮（社新）一九五三七
小林房之助（民新）一五九六五
立川　平（政前）一四四七四
次點 南　鐵太郎（政新）一二五三三

▲兵庫三區（定員三名）
河合義一（社新）一五六三六
小林絹治（政前）一三〇九〇
田中源三郎（政新）一三〇七〇
次點 柏木清治（民前）一二〇四五

▲兵庫四區（定員四名）
清瀨一郎（國前）二一一九三
田中武雄（民前）一九〇二二
原　惣兵衛（政元）一七四二〇
小畑虎之助（民前）一三三六六
次點 古河和一郎（政前）一三三二七

▲兵庫五區（定員三名）
齋藤隆夫（民前）二三〇七〇
若宮貞夫（政前）一七〇八二
山川賴三郎（政新）一三七九八
次點 植村嘉三郎（民前）一〇九九三

▲滋賀全縣（定員五名）
堤　康次郎（民前）二七七二四
青木亮貫（民前）一九一九九
森　幸太郎（政前）一八七一七
田中養達（東前）一七四五〇
服部岩吉（政前）一四五四四
次點 梅澤次作（地方無產新）一一四一三

九州、中國

▲香川一區（定員三名）
前川正一（社新）一四七九九
藤本捨助（中新）一三[illegible]六五
宮脇長吉（政前）一二七二四
次點 小西　和（民前）一一五四六

▲香川二區（定員三名）
三土忠造（政前）一八九八一
矢野庄太郎（民前）一八八六一
松浦伊平（政新）一〇八一六
次點 石井絹治郎（政新）六七四四

▲福岡一區（定員四名）
中野正剛（東前）一九一九一
松本治一郎（社前）一五七九〇
龍牛凡夫（中元）一五二八五
原口初太郎（政前）一三七七二
次點 前田幸作（中前）一〇六〇八

▲福岡二區（定員五名）
龜井貫一郎（社前）二二八三七
田尻生五（政前）一七八三七
石井德久次（政前）一七六一〇
田島勝太郎（民前）一六八一〇
松尾三藏（民新）一四一四一
次點 三浦愛二（日無新）一三六二七

▲福岡三區（定員五名）
野田俊作（政前）一七一五三
山崎達之輔（中前）一六七八〇
鶴　惣市（政前）一六五一八
增永元也（政新）一六四三五
岡野龍一（民元）一三四四二
次點 岡　幸三郎（中前）一三三二五

▲福岡四區（定員四名）
勝　正憲（民前）二三一〇六
末松偕一郎（民前）一八〇七九
田原春次（社新）一六九五〇
小池四郎（政革元）一〇八一〇
次點 片山秀太郎（政前）九八五四

▲佐賀一區（定員三名）
池田秀雄（民前）一六三九二
中野邦一（民前）一五〇一六
田中亮一（政前）一二七三七
次點 御厨規三（政新）六五三八

▲佐賀二區（定員三名）
藤生安太郎（政前）一六三八三
一ノ瀬俊民（政新）一四八一三
愛野時一郎（民前）一四六一五
次點 中村又一（民前）一三二四一

▲山口一區（定員四名）
西川貞一（政前）一七八四八
青木作雄（東新）一四六九八
庄　晋太郎（政元）一二〇四
安倍　寬（中新）一〇七八八
次點 藤田包助（政元）一〇六四八

▲山口二區（定員五名）
西村茂生（政前）一八八五五
窪井義道（昭前）一七六七七
國光五郎（政前）一六九三一
細田悌夫（民前）一五五七二
中野治介（政前）一一九五五
次點 兒玉右二（昭前）七八〇二

▲島根一區（定員三名）
櫻內幸雄（民前）二一一四八
原　夫次郎（民前）二〇二四四
高橋圓三郎（政新）一九一〇五
次點 木村小左衛門（民前）一七八〇二

▲島根二區（定員三名）
島田俊雄（政前）一八九六六
俵　孫一（民前）一六三九一
沖島鎌三（政元）一五五五九
次點 升田憲元（民前）一三六七五

▲岡山一區（定員五名）
久山知之（政前）三〇六三五
岡田忠彥（政前）二五四五五
行吉角治（政前）一六六九二
黑田壽男（社前）一五三〇八
玉野知義（昭元）一〇二六三
次點 逢澤　寬（民新）一〇〇七二

▲岡山二區（定員五名）
小川鄉太郎（民前）二三八七六
西村丹治郎（民前）二二七二九
犬養　健（政前）二二五一六
星島二郎（政前）一九三〇八
小谷節夫（政前）一五九九八
次點 重井鹿治（社新）一一一七

▲廣島一區（定員五名）
岸田正記（昭前）一八三五七
古田喜三太（民前）一七四五五
名川侃市（政前）一六六八九
藤田若水（民元）一六四二九
次點 荒川五郎（民前）一五四七一

▲廣島二區（定員四名）
木原七郎（民元）二一二九七
望月圭介（昭前）二〇七一五
山道襄一（民前）一五八〇八
肥田琢司（政前）一五四九一
次點 渡邊　伍（昭元）一三八五八

▲廣島三區（定員五名）
永山忠則（昭前）二二八六四
土屋　寬（民前）二〇六七二
作田高太郎（民前）一七九五二
宮澤　裕（政前）一四七七〇
森田福市（政元）一三八七五
次點 米田規矩馬（政元）一一四一三

▲鳥取全縣（定員四名）
稻田直道（政新）一八五七七
山桝儀重（民前）一六四四七
三好榮次郎（民前）一五六四〇
豐田　收（昭前）一五五四三
次點 由谷義治（東前）一二〇九二

棄權率增大の責任は林內閣にあり（民政首腦見解）

【東京國通】民政首腦部は今回の總選擧で全國的に棄權率が增大する理由につき左の如き見解の下に その責任は全然林內閣にあり政府は速かに國民の審判に服し全國民の前にその責任を明かにすべきである としてゐる、今回の解散が全く憲表に出た暴擧であつたこと ならびに政府が當初新黨の出現を期待してゐたやうであるが其のことも時日の經過に從ひ政府自身の妄想錯覺であることが國民の知悉するところとなり、政府とこれに反對するものとの勝敗の數が餘りにも明瞭であつたゝめその歸趨は問はずして反政府軍の大勝に歸すべしとの氣持が自然選擧民に反映して選擧に氣乘薄となつた爲である、加ふるに選擧最中未だ國民の審判を下さざるに先立つて政府はしばしば不謹愼にも再解散を放送して國民を威嚇し、選擧民をして異常な恐怖心を生ぜしめた結果むしろ觸らぬ神に祟りなしとの感情が棄權率の增大となつて現はれたものといへよう要するに林內閣が憲法の精神を蹂躙するが如き感を國民に與へたことが其原因の重點であつてこゝに考へ至るとき棄權率增大の責任は全く政府にありこれにより政府の責任はさらに一層重大を加へたものといへよう

"國民、政治の游離" 安藤政友幹事長談

【東京國通】安藤政友幹事長談 今回の選擧で棄權の多かつたのは大體次の理由に基くものと思ふ、その第一は選擧に對する國民の興味薄からで今回の解散が理不盡無理由であることは大衆の殆んど一致した意見である上に政友が一致して現內閣の非立憲的態度を糾彈してゐるのに對して現內閣を支持する與黨がないところから選擧に對する興奮と興味を失つたためである、第二には肅正選擧があまり形式に捉はれ過ぎ沒常識な取締りをしたのだから選擧に對する國民の氣持を萎縮せしめてしまつた、第三は昨年總選擧をやつたばかりのところへ本年にはいつて市會町村會等の選擧が行はれた地方がたくさんあり、總選擧に對する興味を失つたこと等である、この棄權率の增大はわれわれも前から豫想してゐたことであるが、國民大衆をかくの如く政治から游離せしめたといふことは國民に何等の交渉も持たぬ超然非立憲內閣のしからしむる結果で、わが立憲政治のため深憂に堪えない

林首相參內 政務を奏上

【東京國通】林首相は一日午前十時宮中に參內、天皇陛下に拜謁仰付けられ一般政務を奏上、種々御下問に奉答、御前を退下し、更に別室にて湯淺內府、百武侍從長と會見重要懇談を遂げ、午後零時四十五分宮中を退出した、また平沼樞府議長も午前九時四十五分宮中に參內天機を奉伺した後、湯淺內府および殆んど同時に參內したる林首相と共に別室で會見した模樣で、二時間にして退出した

飽迄窮局打開の爲 あす閣議で重要協議
政府の態度、依然積極

【東京國通】總選擧の結果は政府側にとつて著しく不利に陷り總選擧後の政局に對處する政府の態度如何は最も注目されてゐるが、政府はこの點に關し總選擧の一切の結果が判明するを待ち、三日の定例閣議において重要協議を遂げ今後の政局に對處する根本方針を決定することとなつた、しかし林首相としては總選擧後の政局に對しては飽くまで窮局打開の方策を見出し難局を切り拔けんとしてゐるので三日の閣議に於て政民兩黨の反政府的態度に對する具體的對策を始め文部、鐵道、拓務三閣僚の補充問題、新黨問題顧問官補充問題および總選擧後召集すべき特別議會の對策等一切の懸案に對する解決方針を協議決定する筈であるが政府が總選擧の直後直ちに斯の如く政局打開の積極的態度に出んとしてゐることは頗る注目される

各派當選者別數

【東京國通】午後九時卅分現在各派當選數つぎの如し

	（舊）	（新）	（計）
民政	九七	一〇	一〇七
政友	八三	一九	一〇二
昭和	一一	一	一二
社大	一七	一三	三〇
國同	四	—	四
東方	三	二	五
日無	一	—	一
養正	一	—	一
政革	一	一	二
中立	九	六	一五
計	二二七	五二	二七九

なほ右の外未開票分中當選確實と見られるものは次の通りである
民政二五、政友一九、昭和二、社大二、國同二、其他三、中立三、計五六

樞密顧問官二名の補充 近く決定

【東京國通】政府は缺員中の樞密顧問官四名の內二名を補充することになり、人選につき林首相と平沼樞府議長との間で過般來折衝中であつたが、大體意見の一致をみるに至つたので近く正式に決定する筈であるが、新顧問官は軍部出身一名及び外交畑から一名銓衡することとなり、阿部信行大將または大島健一大將の內から一名、ならびに小幡酉吉氏が有力視されてゐる

統制法施行控へ 實業廳長會議開催

滿洲國重要產業統制法は既報の如くいよいよ五月十日より施行されることとなつたが、實業部では統制法の趣旨ならびに實施に當つての關係事項につき說明、打合せを遂げるため來る四、五兩日各省實業廳長、工業關係主任者および各鑛業監督署々長を召集して會議を開催することとなつた

山邊習學師講話

滯京中の佛教協會長山邊習學師は既報の通り一日午前八時新京驛で講演を試みたのを始め午後二時から大同大街の東本願寺滿洲別院上棟式に臨席晩は七時半から東本願寺で講話があり、二日は午後七時半から本願寺で同樣講話がある

樺太眞岡町の大火 四百戸燒く

【豐原國通】三十日午後十一時頃樺太眞岡町南濱町二丁目から發火、折柄の濱風にあほられ榮町一丁目、南濱町一丁目、長濱町西濱町、海岸通り等目拔の商店街一帶をなめ盡し、四百戸を全燒して一日午前二時半漸く鎭火した、今年はニシンの鱗が少く町民は鰊庫の折柄とて全く泣面に蜂といふ大慘事である

教育の本義を體し 百年の計確立
新學制公布に張總理謹話

新學制の公布にあたり張國務總理は左の謹話を發表した

□

畏くも曩に回鑾訓民の詔を拜し茲に其の御煥發第三周年記念の佳節に當り勅令をもつて新たに學制を公布せられ、我國文教の大本を昭示し、國民をして其の歸趨する所を知らしめ給ふ、寔に恐懼感激の至りに堪へず、惟ふに我國建國日尚淺しと雖も日滿一體の國是に基き積弊一新庶政革もつて國內既に統一し民族相和し、百業日に興り正に王道樂土の果を收む、すなはち國民濟しく此幸慶に浴し國運の隆昌前古その比を見ざる所なり、國運隆昌の本源は他なし、一に國民教育の振興に繫りて存す而も國民教育の振興は鞏固なる教育制度とその圓滑なる運用に在るや言を俟たず而して今次の新學制たるや周密なる精査と愼到なる考慮に出りて成り、最も我國情に適するものと謂ふべし國家のため同慶に堪へざるなり、すなはち國民たる者須らく我國教育の本義を體して益々國本を鞏固にし、職に教育の聖業に在る者は克く新學制の精神に則りて自奮自勵國家百年の計を確立するに努めもつて擧國一致建國理想の顯現に邁進せんことを望む

電業（柔道）一般A（劍道）優勝
青年學校武道大會

新京青年學校創立記念第二回武道大會は一日午後一時から商業學校講堂で開催された、選手、一般入場、國歌合唱、開會の辭、來賓の祝辭、會長の訓示あり、ついで試合開始され、まづ柔劍道とも事館局電業、工業、一般、陣、機[illegible]區各班對抗試合、續いて個人試合が行はれ團體試合では柔道電業班、劍道一般班Aが優勝しそれぞれ後援會寄贈の優勝旗が授與され、個人試合

▲劍道 一等滿鐵區[illegible]崎君、二等末森君、三等一般有山君 四等一般溝口君

△柔道 一等電業吉本君、二等同湯藤君、三等同張君、四等同和田君

がそれぞれ賞品授與され午後四時盛會裡に散會した（寫眞は武道大會々場）

大山陸軍省法務局長來京

大山陸軍省法務局長は一日午後六時二十分着あじあで關東軍法務部長以下部員の出迎へをうけて來京國都ホテルに投宿したが驛頭で語る

別にたいした用件はないがたゞ最近の滿洲新情勢を識りに來た、三年ぶりに滿洲にやつて來たが何處も此處も異常な發展ぶりに驚いた新京に二、三日滯在した上更にハルビン方面に行つてみたい

佐々木奉鐵出張員榮轉

新京滿鐵劍道部の監督としてまた庭球選手として國都運動界に尠からぬ貢獻あつた奉天鐵道事務所新京出張員佐々木清永氏は今次の異動で牡丹江鐵路局に榮轉不日出發赴任することとなつた

人事往來

▲岩下政治氏（會社員）一日東京中央ホテル
▲横田鐵之助氏（同）同
▲青山勝藏氏（木材商）同
▲上野金作氏（大倉土木）同
▲廣崎幸雄氏（同）同
▲高倉近氏（商）同
▲小矢兼賢氏（同）同
▲長谷川宗一氏（大嶋）同
▲石井勇氏（淺野物產）同都ホテル

航空往來

▲村上重太郎氏 一日ハルビンへ
▲石橋才藏氏（官吏）同大連へ
▲今吉清藏氏（土木業）同牡丹江へ
▲天王寺谷季一郎氏（會社員）同奉天から
▲古畑虎丸氏（同）同

偶語

滿鐵の社員採用試驗の結果からみると多額の學資を費して內地へ勉強に行つてゐる滿洲の學生は內地學生に比し著しく成績が惡い▼其原因は氣持の相違が最も大きな原因と云はれてゐる▼更にそれ以上に驚くことは壯丁の體格の相違である▼昭和十一年度の壯丁檢査の結果によると滿洲育ちの甲種（一）は一三三、七（千分比）（二）は一六〇、六▼第一乙種（一）一九九、一（千分比）（二）二三五、八、第二乙種（一）三九八、二（二）三四九、六▼それに比べて內地育ちは甲種三二二、九（千分比）第一乙種一九四、六、第二乙種二七五、八といふ數字を示してゐる▼甲種に於て滿洲育ちは內地育ちの半數若くはそれ以下であり、第二乙種並に丙種に到つては反對に倍以上となつてゐる▼要するに斯る不成績は其原因奈邊にありやは輕々に判斷し得ざるも▼滿洲に即した生活の缺陷にあるは[illegible]を使ふまでもなきことで實に由々しき重大事でなくてはならぬ

"日本の現狀認識を支那に忠告した" 川越大使京都着語る

【京都國通】川越大使は卅日午後十時十分京都驛着入洛柊屋に一泊、一日午後上京の豫定であるが、左の如く語つた

事務打合せのため歸つたので大使を罷めるために歸つたのではない、東京にどの位滯在するか再び歸任するかどうかは佐藤外相と會見した上でなければ分らない日支兩國間に現在の情勢で國交調整をしようとしても出來ない相談である、しかし絕望するには當るまい、支那が抗日一本槍でゐるのは事實だが、その抗日は日本と一戰を辭さないと意氣込んでゐるとだけ解すべきではなく、どの方面でも日本に負けないと努力しやうといふ氣持ちが含まれるとみるのが正しい、また國民黨は決して共產黨と對等の立場で妥協しようとしてゐるのではない、若し政治的解決が駄目となれば武力に訴へても共產黨をやつゝける肚であるやうだ、日英が對支問題について手を握ることは決して惡いことではない、內地に對支再認識論が盛んに行はれてゐるのは結構だが、それと共に自分は支那側要路者に對し、支那朝野も刻々發展を示してゐる日本の現狀をよく認識せよと强調して來た

社說 滿洲國の新學制 國民教育の大計成る

一

滿洲國の新しい學制令が本日、皇帝陛下訪日宣詔の記念日に公布され、この國の文教が新しい軌道の上を推進せしめられることゝなつたのは極めて意義深く、その將來に對して大いに期待をかけられるところである。新學制について見れば、それは全く舊來の制度を一掃し、全面的に新鮮な機構を樹立しやうとしてゐる事が知られる。一般の耳目に響くところについて言へば從來の初級、高級小學の名を排して、國民學校の新稱呼を與へた如き、また從前の師範學校の名稱に代ふるに師道學校の稱呼を以つてした如き、まことに新興建設の國情にふさはしい行き方としてその著しい特質を示すものであらう表面的な名稱や形態から更に一歩その內容に立ち入つて考ふれば、一層愼重な考慮が拂はれてゐることが知られるのである。

二

從來、この國に於ける教育の狀態は、一般的に甚だ遲れた實狀のもとにあつた。若干の施設はあつたが、一局地或ひは特定階層者たちの便益のためにのみ奉仕するが如きものであつた。新學制はかかる舊弊を除去し、最も適切有效な教育の效果をあげることを期してゐるのである。このためには合理的に就學年限を可及的に短縮すること、教育の機會均等を重んずること、初等教育に於ける學課目を有機的に統合すること、實務教育に重點を置く事等が努められてゐるのである。また日本語を普通の意味の外國語として取扱はず、國語の一つとして教へることとした點、主として日本への留學者のためを考慮した點等にも注意すべきものがある。女子教育に於ける獨特の注意、師道教育として制定した新しい教育者の養成のための制度等も見落されてはならぬ。

三

新學制は成つた。ただそれが實際的に充分に效果をあげるに至るのは、即時に出來る事ではない。一般的改廢等も來年一月から實施されゝ由である。すでに當局者も語つてゐる如く、形式に於ける改善よりも重要なのは、その大業に從ふ教育者たちの如何であらう。良き學舍、すぐれた施設もとより望ましい所ではある。しかしそれらを超えて、良き教育者こそ强く待望されるのである。この國成つて第六年、いまやこの文化的方面に於いて百年の長計たるべき國策が樹立され、その實現に進まうとするのはわれらの慶視に堪へないところである。事はこの國の將來を背負ふ若い世代、後繼者に至大の關係を持つ。慶しつゝまた期待する所も大きいのである。

エストニア人の見たソ聯の實狀! 總てが宣傳內部から自壞

最近一エストニヤ人によつて次の如きソ聯の內部が暴露された＝千九百三十四年までアボイ驛（エストニヤとソ聯國境の一驛）に赤軍の一員として勤務してゐたホスカウイッチなるエストニヤ人の語る所によれば

現在エストニヤとソ聯の關係は表面平穩なる如く見えるが、ソ聯人は政府の暴政に耐へかねて續々エストニヤ領に逃亡するので、ソ聯政府はソ聯人の國境地帶居住を嚴重禁止、更に監視を置き防禦しつゝある

自分が在營中友人の一人が反政府容疑者として逮捕されたが、この男が日本に旅行した事を自白せる際、裁判官はこの男に向つて再びお前が日本に行く機會あらば日本外交官に對しソ聯は既に國內外とも對日戰備は完成し何時なりとも戰爭可能なりと告げよと豪語した

またモスクワにおけるインツーリスト員は自國の宣傳の爲旅行客に對しては代表的建築物の所在する箇所のみを案內し、反面の窮乏せる內情は極度に隱蔽しその暴露を恐れてゐる、かつてこれら代表的建築物と雖外觀に比し內容は不備近代的施設などは殆どゼロなのが窺はれる

鐵道に關してはチタとハラノール間は複線であるが、新たに某點まで延長するもの如く諸材料を多量に運搬中であるが、その質は甚だ粗惡で枕木なぞは防腐劑の使用なくその使用能力は最大二、三年とみられてゐる、なほ建築技師は幼稚なため列車運行中故障續出の有樣である、ソ聯では技術及び材料を輕視して、外觀のみを糊塗し、對外的宣傳のみを行ふことが觀取される、これらは一朝非常時に際し充分なる實力發揮は難しいであらうとみられてゐる、以上の樣な情況を綜合すると將來日滿ソ間に戰禍が避け得られないとすれば公平なる第三者の立場からみて戰爭は短時日には終了しないであらうが、長時日に亘れば必ずソ聯內部より自壞作用が起つて敗れるのは必然であらう

香月中將けふ來京

北支及滿洲視察の途にある教育總監部本部長香月中將は二日午後八時四十五分着「はと」で熱河より來京する豫定

內地失業者減少

【東京國通】內務省社會局では卅日最近における失業狀態の槪要を發表したが、それによると失業者數は

年	（人）
昭和四年	二九四、〇九五
同五年	三六六、七九八
同六年	四一三、二四八
同七年	四八九、一六八
同八年	四一三、八五三
同九年	三七四、三一八
同十年	三五六、五五七
同十一年	三四〇、八五五

でこの三、四年は漸減の傾向にある、これは時局の波に乘る軍需インフレと海外貿易の進展による各種場工の殷賑ならびに職業紹介機關の普及發達とによるものとして注目されてゐる

を遺憾なく發揮してゐる

長崎造船所 職工昇給

【長崎國通】三菱長崎造船所では五月一日から常備日給職工は男工十錢女工五錢の一率昇給を行ふ旨卅日發表した

今回の昇給は歐洲大戰以來實に廿年振りの增俸で、六月中には未だ定期昇給が待つてゐるので、このところ職工さんの當り年、更に造船所では八月一日から日本團體生命保險會社と契約し、全職工を生命保險に加入せしめ、萬一の場合は一人に對し三百圓の保險金と、從來の弔慰金五百圓を加へて贈ることゝなり昇給四萬圓の大盤振舞が工場街を沸きかへらせてゐる

物價對策委員會要綱 閣議で決定

【東京國通】最近における一般物價の全面的騰貴抑制に關する物價對策委員會の要綱は卅日の定例閣議で大體決定したが、同委員會は官制によらず閣議決定事項として內閣に設置され結城藏相、山崎農相伍堂商相の手許で民間側委員の銓衡を終り次第來月四日または七日の閣議で正式に決定委員の任命發令をみる筈である、同委員會要綱は左の通りである

一、物價對策委員會は內閣總理大臣の管理に屬しその諮問に應じ一般物價騰貴に對する根本ならびに應急抑制法策を審議すること

一、同委員會の會長は首相、副會長は藏、農、商三相とすること

一、委員は金融產業經濟界の實行力ある有識者をもつてそれに充て特に消費方面の代表者をも加ふること

一、右委員の外臨時委員として關係官廳および民間側より夫々約五名を任命すること（官吏側臨時委員の內に社會局長官を加ふること）

の要望を滿すことゝなつた

京圖、連京線 列車區一元化

鐵道總局では全滿鐵道の一元化を圖つてゐるが一日から吉林列車段東新京分段を廢止し京圖線主要列車二百一、二百二、二百三、二百四各旅客列車の食堂車には新京列車區員を專務させ食堂一切の業務の引繼をしこれがため新京列車區には新に吉林列車段から四十餘名の從事員が轉勤を命ぜられ、いよ／＼京圖線と連京本線の列車區一元化の緖についた

航空ダイヤ 一日から改正

滿洲航空會社の夏季航空ダイヤは一日から全線一齊に改正されたが、この時間改正と同時に賃金の大減價を斷行した今次時間の改正は現地に即して苦心が拂はれており地方利用者には非常な便宜が齎さる筈である、なほ今まで隔日に運航してゐた快速機國光號は一日から通日運航することゝなつたので哈爾濱大連間を僅かに三時間で翔破する同機の利用は增加するであらう

和洋雜商組合

さきに結成された新京中小商店街を網羅する同業組合聯合會ではその第一事業として店員共濟會の結成を企圖し既に規約草案も出來、着々準備を進めつゝあるが、その趣旨は別として會員負擔額が、店主從業員ともに比較的高率に過ぎるためか一部同業組合中には最初より熱意を有せざるものもあり、その結成は現在かなり行悩みの狀態にあるが、和洋雜貨商組合では來る四日記念公會堂にて役員會を開催役員改選並びにこれらの問題につき種々協議を重ねる筈である

大カフエー時代へ 影をひそめた群小カフエー 明朗企業化に期待

事變後の異常な國都の建設景氣に伴ひ簇出したネオン街を形成する群小カフエー、喫茶店は最初は需用供給の原理通り所謂水商賣の例へに洩れず相當どうかと思はれるものでも結構經營して行けたが、昨今漸く一般の景氣が常態に復し、落着きをとり戾してくると顧客の目は肥え、舌は奢つて次第に從來の如き設備サービスでは慊りなくなるのは當然で、ネオン街は競つて設備調度、サービス陣に豪華を誇る所謂グランドカフエー時代を現出せんとしつゝある狀勢になつてゐる、即ちカフエー業の企業化であり近代的實業化であるが、現にかゝる方針でそれ／＼增改築中の有名カフエーも二、三にとゞまらず今後もます／＼續出するものとみられてゐるが、業界のよりよき明朗化とともに比較的慰安設備の少い國都人士からは多大の期待がかけられてゐる

滿洲建國大學 二日、地鎭祭

滿洲國政府は康德五年四月より國都に「滿洲建國大學」を設立し、民族を超越し建國精神を徹底せしめ、將來あじあ復興の指導者を養成することゝなつたが、同大學の建設工事は直ちに今春より取りかゝるに決し、明二日南嶺訪日宣詔記念館敷地前において地鎭祭を執行することゝなつた

式次第

一、諸員着席（午後三時）
一、神官着席
一、開式
修祓
降神（諸員起立）
獻饌
祝詞奏上
淸祓
鍬入式（總務廳長、營繕需品局長）
玉串奉奠
1 營繕需品局長
2 國務總理大臣
3 關東軍參謀長
4 國務院總務廳長
5 協和會中央本部長
6 特別市長
撤饌
昇神（諸員起立）
一、閉式

因に同大學は國務院に直屬し豫科三年、研究科より成り本科においては法制、經濟、倫理哲學等を專攻せしめる筈である なほ建國大學は今次制定されたる大學令によらざる特殊教育機關である

監察役陣强化と監理課長の更迭〔滿鐵異動評〕

今回の整理異動が相當廣範圍におよぶとの豫想はそのまゝ實現され永年勤續社員および病弱老朽社員の淘汰も思切つて行はれ、その後任補充には新進少壯社員の拔擢が目立つてゐる、全般的にみて今まで人的要素の缺陷のため充分機能を發揮し得なかつた個所を刷新强化せんとした跡が窺はれる、その一つは監察役陣の强化であるが、監察役は坂口氏一人を殘して清水、金井、廣崎の三監察役が退却し、代つて理論家肌の參與中野忠夫氏が監察役兼務となり本社鐵道總局監察の徹底が期せられてゐる、その二は總裁室監理課長の更迭で、谷川前課長の自由主義經濟原則に基く關係會社監理上の放任主義が淸算され、統制經濟主義に則る近代的綜合統制の妙味が發揮されるものと期待される新京事務局業務課長高田精作氏の監理課長就任は異數の拔擢といふべくしかも聊かも無理の感を與へてゐない、谷川氏の總裁室勤務は傍系會社轉出の前提であらう、天津事務所長太田雅夫氏の撫順炭礦次長は榮轉であるが、技術出身の久保炭礦長に配するに事務次長として太田氏を据えたことは名コンビとして好評である、八木聞一氏の資料室主事は學究的中島前主事と交替するといふ意味のみで別に異色はないが、八木氏がさきに監理課長に擬せられてゐたゞけに多少意外の感を與へてゐる、今回は相當多量の整理を行つたが即時退職は極めて少數で大部分は部附囑託として待遇されてをり、松岡總裁の溫情人事

鑛區ブロック强化に 鑛業法改正か 出願樣式等の不備を除く

滿洲國產業開發計畫の重點をなす重工業部門は各擔當特殊會社の手によつて開發されつゝあるが特に鑛業資源企業化には鑛業權の確立が先決問題であるだけに實業部では之に呼應して去る康德二年八月新鑛業法を公布して以來實績の再檢討をなしつゝあつたが近くその一部改正を行ふ事となる模樣である、現行鑛業法に規定せる鑛區のブロック制は最も進步的のものであるが出願樣式等に不備の點多く例へば出願鑛區の重複照會の場合に審査の澁滯を來して居り之を一出願ブロック主義その他鑛業手數料の低下等により速かなる認可とその遂行を促進せんとするものである

大連、東京間 無線通話 時間制限延長

大連東京間を結ぶ日滿無線通話の取扱時間は從來午前十時から午後一時までの三時間であつたが、最近これが利用者の激增に鑑み電々會社では來る五月一日から午前八時より午後五時までに延長し、一般

重要產業統制法 施行規則

滿洲國政府は重要產業統制法公布と同時に實業部令をもつて左の如く同法施行規則を公布した

▲重要產業統制法施行規則

第一條 重要產業統制法第一條の許可申請書には左の事項を記載すべし
一、氏名または名稱及び營業所の位置
二、工場の位置
三、重要產業の種類
四、主要生產設備、生產能力及び生產方法
五、所要資金及び資金調達の方法
六、一ヶ年の生產、販賣及び使用原材料の見込高（種類別數量及び價額）
七、原材料の取得方法
八、事業年度及び收支概算
前項の申請書には申請者法人の發起人なる場合にありては定款を法人なる場合にありては定款、貸借對照表及び財產目錄を添附すべし

第二條 重要產業を營む者前條第一項第二號第四號又は第七號の事項を變更せんとするときは主管部大臣の許可を受くべし

第三條 重要產業統制法第一條の許可を受けたる者左の場合にありては遲滯なくこれを主管部大臣に屆出づべし
一、生產設備を完了したるとき
二、生產に着手したるとき
三、氏名若くは名稱又は營業所を變更したるとき
四、發起人法人を設立したるとき

第四條 重要產業統制法第二條の事業計畫書には左の事項を記載し、毎事業年度開始前これを提出すべし
一、生產、販賣、購買、調査および研究その他の施設に關する計畫
二、法人なる場合に在りては重要なる資金計畫
三、生產高、販賣高、原材料の購買高および使用高（種類別數量及價額）
四、統制協定ある場合は事業計畫と統制協定との關係

第五條 重要產業統制法第二條の事業報告書には前條第一號乃至第三號の事業計畫實施の經過を記載し重要產業を營む者法人なる場合に在りては貸借對照表および財產目錄を添附し毎事業年度經過後遲滯なくこれを提出すべし

第六條 重要產業統制法第五條第一號により許可を受くべき統制協定左の如し
一、生產に關する協定
二、販賣に關する協定
三、原材料の購買に關する協定

第七條 重要產業統制法第五條第一號の許可申請書には產業の種類、協定事項および統制の組織を記載し協定書の寫を添附すべし

第八條 重要產業統制法第五條第二號の許可申請書には擴張または變更せんとする生產設備および擴張または變更後における生產能力を記載すべし

第九條 重要產業統制法第五條第三號の許可申請書には讓渡せんとする事業、その生產設備および生產能力を記載し當事者連署の上、これを提出すべし
前項の申請書には讓渡契約書の寫および讓受人法人なる場合に在りては定款、貸借對照表および財產目錄を添附すべし
讓受人は事業の讓受および經營に要する資金および資金調達の方法ならびに事業讓受後に於る生產能力を記載したる書面を提出すべし

第十條 重要產業統制法第五條第四號の許可申請書は合併により新たに法人を設立せんとする場合にありては發起人よりその他の場合にありては合併後存續すべき法人の代表者よりこれを提出すべし
前項の申請書には合併契約書の寫及び合併により新たに法人を設立せんとする場合にありては定款をその他の場合にありては定款、貸借對照表及び財產目錄を添附すべし

第十一條 重要產業統制法第六條第一號の屆出書には休止又は廢止したる事業、その生產設備及び生產能力を記載し休止の場合にありては休止の期間を附記すべし

第十二條 重要產業を營む者の相續人被相續人の事業を承繼せんとするときは相續開始の日より三月內に相續人たることを證する書面を添へ重要產業統制法第一條の許可を申請すべし
相續人數人ある場合はその內の一人において申請することを要す、この場合においては他の相續人のこれに關する同意書を添附すべし
前項の申請には第一條第一項各號の記載事項を省略することを得
相續人第一項の申請を爲したるときは許否の決定あるまでは被相續人の事業を營むことを得

第十三條 左の產業にありては主管部大臣に提出すべき書面は重要產業統制法第五條第一號の申請書を除き主たる營業所々在地の省長または特別市長を經由すべし
一、毛織物製造業
二、綿絲紡績業
三、綿織物製造業
四、麻製綿業
五、麻紡織業
六、製粉業
七、麥酒製造業
八、製糖業
九、煙草製造業
十、パルプ製造業
十一、油房業
左の產業にありては主管部大臣に提出すべき書面は重要產業統制法第五條第一號の申請書を除き鑛業監督署長（蒙政部管內にありては省長）を經由すべし
一、鑛物採掘の附屬事業として營む鑛油製造業
二、炭鑛業
三、鑛物採掘の附屬事業として營む鐵、鋼、アルミニウム、マグネシウム、鉛、亞鉛、金、銀および銅の精鍊業
四、鑛物採掘の附屬事業として營む肥料製造業

附則

本令は重要產業統制法施行の日よりこれを施行す
重要產業統制法附則第二項に該當する者は本令施行の日より六十日內に第四條の事業計畫書を提出すべし
重要產業統制法附則第三項により許可を申請せんとする者は許可申請書に第四條の事業計畫書を添附すべし

作野延氏榮轉

滿鐵新京醫院內科醫員作野延氏は今回の滿鐵人事異動で鐵嶺醫院內科長に榮轉の內命があつた、同氏は昭和二年十二月長春醫院に轉勤して昭和九年三月まで滿六ヶ年四ヶ月勤續し昭和九年四月から十一年三月まで滿洲醫大研究室に研究、更に十一年三月新京醫院に二回目の勤務を命ぜられて今日にいたつた新京には緣の深い溫厚篤實な人格者で今回の榮轉は名方面から惜しまれてゐる、なほ後任には昭和七年長崎醫大出身の醫學博士本岩滋樹氏が命ぜられた

中銀週報

四月十八日より廿四日に至る中銀貨幣發行平均額左の如し

貨幣發行額 [illegible]
紙幣 [illegible]
準備 [illegible]
保證 [illegible]
硬幣 [illegible]

商況欄 （四月一日）後場

●上海標金 前引 二三三、二
●上海爲替
日本向 第一回賣 一〇四、八七五 第一回買 一〇五、一二五
倫敦向 第一回賣 一志二片一六分五 第一回買 一八分
紐育向 第一回賣 二九弗一六分三 第一回買 一八分七

新京取引市況 （四月一日後場）

現物（一石値段） 寄 引 出來高
大豆 — — —
高粱 — — —
米 — — —
吉豆 — — —
小豆 — — —
玉蜀黍 — — —
五月限 七、〇〇 七、〇三 一〇車

高粱
三月限 — —
四月限 — —
五月限 — —
六月限 三、五二 一車

手形交換高 （一日）

國幣 一〇四枚 [illegible]

鮮魚小賣相場 （百匁に付）（日）

品名	最高	最低
活鯛	一二〇	四四
氷鯛	一六	三〇
中小鯛	九六	七二
チコ鯛	六六	五四
チヌ鯛	四一	三五
アマ鯛	九〇	七二
エビ	一〇	八
中エビ	三四	…
ブリ	六〇	…
ヒラス	四二	三六
マス	四六	三六
サワラ	二四	二二
ニベ	二七	二四
鯖	…	…
赤ムツ	…	…
メバル	三〇	一五
アブラメ	…	…
鰡	…	…
水蛸	三〇	二六
飯蛸	一五	八
紋甲イカ	四五	三六
小イカ	九六	七二
ヒラメ	三一	一六
カレイ	一七	一五
星カレイ	三一	二二
目高カレイ	…	…
カナガシラ	一五	一三
鰯	…	…
コノシロ	三〇	…
オコゼ	三六	…
キス	六五	五五
アナゴ	二八	二四
白魚	二〇	一八
鮑	九〇	六〇
カキ	三五	二五
帆立貝身	二二	一九
赤貝	一三	八
蜆	七	五
蛤	…	…
オバ	三〇	…
ムキミ貝	一二	…
カニ	一八	一〇
カマボコ	一八	一五
（切り身相場）		
[illegible]	一二〇	七〇
ブリ	七五	六〇
ヒラス	…	…
ニベ	五〇	四五
ヒラメ	…	…

天氣と氣温

けふの天氣 南寄の風晴一時曇り
日の出 前五時
日の入 後七時
月の出 前〇時
月の入 前十一時
最高
最低

滿洲國新學制(けふ公布)

日滿一德一心不可分の精神高揚

滿洲國政府は從來の國情に反する舊制を踏襲し來つた學制を全面的に改革し今回新學制を制定、去る卅日の臨時閣議、參議府御前會議を經て二日これを公布明年一月一日より施行する事となつた、その學制要綱は左の如くである

教育方針

建國精神及訪日宣詔の趣旨に基き日滿一德一心不可分の關係及び民族協和の精神を體認せしめ東方道德特に忠孝の大義を明にして、旺盛なる國民精神を涵養し德性を陶冶すると共に國民生活の安定に必要なる實學を基調として知識技能を授け、身體健康の保護增進を圖り、以て忠良なる國民を養成するを以て教育の方針とす

學校教育要綱 迂遠抽象主義を排す

教育方針は有效適切なる具體的方法によりてこれを實現徹底せしめ抽象的にして迂遠なる方法はこれを排す

一、精神教育を基調として人格の陶冶、德性の涵養を圖り國民精神の昂揚顯現に努めんことを期す

二、勞作教育を重んじて勤勞愛好の精神を養ひ偏知教育の弊に陷らざらしめんことを期す

三、準備教育の思潮を排し學校體系の各段階における教育をして完成教育たらしめんことを期す

四、實業教育または實務教育を重視し初等教育はこれを密接なる關聯に置き中等および高等教育は主としてこれによらしむ

五、體育に關してはその精神的意義を了得せしむるとゝもに衛生方面と相俟つて國民健康の保護增進に努む

六、幼少年の國民教育に重點を置く

七、中等程度以上の教育については社會の需要供給を考慮してこれを施し、所謂學問遊民の靈出を防止す

八、女子教育については婦德の涵養につとめ、良妻賢母たるの使命を果し得る如く特に實務的訓練を施す

九、教師の素質改善と實力向上とに力を用ひ、設備その他の物的要素を第二義とす

十、社會の文化、民度、財政等を考慮しこれと隔絶するが如きことなからしむ

十一、教育の國家的統制を期すると共に地方の實情に適應せしめんことを努む

十二、學校と社會との連絡を緊密ならしめ學校をして社會教化の中心たらしめんことを期す

十三、私人の學校經營は認めざることとなしと雖も其の經費、教育方針、教師の任免等に付嚴重にこれを監督す

學制立案上の要點

一、學校體系においては教育の修業年限を可成短縮して民度文化等に適應せしむると共に教育內容の充實を期す

二、教育の機會均等を重んじ上級學校への聯絡關係は圓滑ならしめんことを期す

三、設置主體は學校の種類と程度とに應じてこれを統一し、他面經費負擔の公平ならんことを期す

四、學科目に關しては有機的にこれを合し、その數を調整せんことを期す

五、教育內容は一般には實業科目に重點を置きたりと雖も他面普通科目をも課して圓滑なる國民性の涵養を期す

六、日本語は日滿一德一心の精神に基き國語の一として重視す

七、道德教育特に國民精神を根基とする精神教育は總ゆる學科目において普遍的にこれを施さんことを期す

八、學制全般の體系を紊さざる限度において外國學界との聯繫に支障なからしめんことを期す

九、學校の名稱は舊來の稱呼に拘泥することなく適切なる名稱を用ふ

十、學術の蘊奧を究めしむるための研究機關は將來必要に應じて之を設置す

十一、在滿日本人教育に關しては別途に之を考慮す

學校の種類と

一 校學教育の分類目標

學校教育を分ちて初等教育、中等教育、高等教育の三段階及師道教育、職業教育の二部門とす段階および各部門における教育目標および學校の種類左の如し

一、初等教育は一般國民としての基礎教育および實務教育を施し、もつて忠良なる國民たるの性格を涵養し、その資質を向上せしむるをその本旨とす

1 國民學舍(國民義塾)
2 國民學校
3 國民優級學校

二、中等教育は實業または實務教育を基礎とする國民教育を施し、もつて國民の中堅たるべき者を養成するをその本旨とす

1 國民高等學校
2 女子國民高等學校

三、高等教育は高等の學術に關する理論および實際を修得せしめ、もつて國家樞要の人材を養成するをその本旨とす

1 大學

四、師道教育は人格を陶冶して教師たるべき者を養成するをその本旨とす

1 師道學校
2 師道高等學校
3 主管部大臣の指定する大學其他の學校又は教育施設

五、職業教育は社會の實生活に必要なる職業に關する知識技能を授け、思想、技倆共に健全なる職業從事者を養成するをその本旨とす

1 職業學校

〖學校要綱〗

一、國民學舍

目的 國民學校の設置困難なる地域又は適當ならざる地域において簡易なる國民教育を施すを以てその目的とす

設置主體 1 特別市、縣、旗、市又は街村若くはこれに準ずるもの 2 街村及これに準ずるものゝ教育組合

監督 設置及廢止は省長(特別市立にありては文教部大臣)の認可を要するのほか其の他の監督については一般行政の例による但し街村又はこれに準ずるものゝ設置する國民學舍の教師に對する視學事務は縣旗長これを行ふ

修業年限 一年乃至三年

入學資格 國民學校に準ず

學科目 國民科、算術、作業(地方の事情によりこの外音樂及體育を課する事を得)

(附)國民義塾

私立の國民學舍に該當するものを國民義塾とし、現存の私塾中優良なるものを改編して國民義塾たらしめんとす

國民義塾の設置および廢止は縣旗長の認可を要するの外その監督、教科書等については國民學舍に倣はしむ

二、國民學校

目的 學生の心身の發達に留意して國民道德の基礎ならびに國民の日常生活に必須なる普通の知識技能を授け勞作の習慣を養ひもつて忠良なる國民たるの性格を育成するをその目的とす

設置主體 1 特別市、縣、旗、市又は街村若くはこれに準ずるもの 2 街村および之に準ずるものゝ教育組合 3 私人

監督 設置および廢止は省長(特別市立に在りては文教部大臣)の認可を要す、その他の監督については公立に依り一般行政の例に依り私立に對しては縣旗市長(其の特別市に在るものは特別市長)を以てその監督官署とす、但し街村又はこれに準ずるものゝ設置する國民學校の教師に對する視學事務は縣旗長これを行ふ

修業年限 四年

入學資格 年齡滿七年以上、國民學舍の卒業者にして年齡滿九年以上の者は國民學校三年に編入せしむるを原則とし、その成績優秀なる者に對しては考査の上四年に編入せしむることを得

學科目 國民科、算術、作業、音樂および體育

三、國民優級學校

目的 學生の心身の發達に留意し、主として國民道德を涵養し、主として實務に關する普通の知識技能を授け勞作の習慣を養ひ、もつて忠良なる國民たるの資質を向上せしむるをその目的とす

設置主體 1 特別市、縣、旗、市又は街村若くはこれに準ずるもの 2 街村およびこれに準ずるものゝ教育組合 3 私人

監督 設置および廢止は省長(特別市に在りては文教部大臣)の認可を要す、その他の監督については公立に對しては一般行政の例により私立に對しては縣旗市長(その特別市にあるものは特別市長)をもつてその監督官署とす、但し街村又はこれに準ずるものゝ設置する國民優級學校の教師に對する視學事務は縣旗長之を行ふ

修業年限 二年(一年又は二年の補習科を置くことを得)

入學資格 國民學校卒業者又は年齡滿十一年以上の同等實力者

學科目 國民科、算術、實務、圖書、音樂、體育

四、國民高等學校

目的 國民道德を涵養して國民精神を修練し身體を鍛錬し主として實業に關する主要なる知識技能を授け勞作の習慣を養ひ以て國民中堅たるべき男子を養成するをその目的とす

設置主體 省、特別市又は私人但し省長は必要によりその經營を縣市に委任することを得

監督 設置及び廢止は主管部大臣の認可を要すその他の監督については公立に對しては一般行政の例により私立に對しては省長(その特別市にあるものは特別市長)を以てその監督官署とす

修業年限 四年

入學資格 國民優級學校卒業者又は年齡滿十三年以上の同等實力者

學科目 國民道德、國語、歷史、地理、數學、理科、實業、圖書、音樂、體育、語學

五、女子國民高等學校

目的 國民道德特に婦德の涵養につとめて國民精神を修練し女子に必要なる知識技能を授け勞作の習慣を養ひ以て良妻賢母たるべき者を養成するを其の目的とす

設置主體 省、特別市又は私人但し省長は必要によりその經營を縣市に委任することを得

監督 設置及び廢止は主管部大臣の認可を要すその他の監督については公立に對しては一般行政の例により私立に對しては省長(その特別市にあるものは特別市長)をもつてその監督官署とす

修業年限 四年(修業年限一年の師道科を置くことを得)

入學資格 國民優級學校卒業者又は年齡滿十三年以上の同等實力者、師道科については女子國民高等學校卒業者又は同等實力者

學科目 國民道德、教育、國語、歷史、地理、數學、理科、家事、裁縫手藝、音樂、師道科にありては教育、實業、圖書、手工、音樂、體育

六、大學

目的 國民精神を修練し高等學術の理論および實際を修得せしめもつて國家須要の人材を養成するをその目的とす

設置主體 國、省、特別市または私人

監督 主管部大臣これを行ふ

修業年限 三年但し必要により一年以內を延長することを得、特に特修科を置くことを得

入學資格 國民高等學校若くは女子國民高等學校卒業者またはこれと同等實力者

七、師道學校

目的 初等教育の教師養成のため師道教育を施すを目的とす、師道教育は實踐躬行に留意し堅固なる國民精神の涵養、知識技能の修得、身體の鍛錬に努めしめ以て人格を陶冶し教師たるべき者を養成するをその目的とす

設置主體 省又は特別市

監督 設置および廢止は主管部大臣の認可を要す、その他の監督に付ては一般行政の例に依る

修業年限 二年、修業年限二年の特修科を置くことを得

入學資格 國民高等學校三年修了者又はこれと同等實力者

學科目 國民道德、教育、國語、歷史、地理、數學、理科、實業、圖書、手工、音樂、體育

△特修科 國民道德、教育、國語、歷史、地理、數學、理科、實業、圖書、手工、音樂、體育

八、師道高等學校

目的 中等教育の普通科目の教師養成のため師道教育を施すを目的とす

設置主體 國

監督 主管部大臣

入學資格 國民高等學校若くは女子國民高等學校卒業者又はこれと同等實力者

學科目
男子部 國民道德、法制經濟、教育、國語、實業、歷史、地理、數學、物理化學、博物、生理衛生、圖畫、手工、書道、音樂、體育、語學
女子部 國民道德、教育、國語、歷史、地理、數學、理科、生理衛生、家事、裁縫手藝、實業、圖書、書道、音樂、體育

九、職業學校

目的 國民道德の涵養につとめ職業に關する知識技能を授くるをもつてその目的とす

設置主體 省、特別市、縣、旗、市又は私人

監督 設置及廢止は主管部大臣の認可を要す、その他の監督については一般行政の例により、私立に對しては省長(その特別市にあるものは特別市長)をもつてその監督官署とす

修業年限 二年又は三年、但し特別の必要ある場合においては一年以內伸縮することを得

入學資格 年齡滿十三年以上にして國民學校若くは國民優級學校卒業者又はこれと同等實力者

學科目 國民道德、國語、算術、職業

學校體系表

(備考=數字は就學年齡)

學制要項公布に伴ひ十四件の勅令を公布

‖明年一月一日より施行‖

滿洲國政府は學制要綱の公布と同時にこれにともなふ法令學事通則國民學校令、大學令その他十四件の勅令を公布、康德五年一月一日より施行することゝなつた

▲學事通則

第一條 教育事業の爲に設くる省、特別市、縣、旗、市並街村及び之に準ずるものゝ組合は之を教育組合と稱す

第二條 行政官署は勅令の定むるところにより省、特別市、縣、旗、市又は街村若くはこれに準ずるものに對し其の教育事務を他のものに委託すべきことを命ずることを得

前項による委託をうけたるものはこれを拒むことを得ず

第三條 前條の委託に對する報償その他必要なる事項は協議をもつてこれを定む

前項の協議調はざる場合においては當事者の一方省若くは特別市なるとき又は省若くは特別市を含む當事者の組合なるときは主管部大臣、その他のときは當事者の共通直近監督官署これを定む

第四條 行政官署は勅令の定むるところにより省、特別市、縣、旗、市又は街村若くはこれに準ずるものに教育組合を設立すべきことを命ずることを得

第五條 行政官署は勅令の定むる所により省、特別市、縣、旗、市又は街村若くはこれに準ずるものに學校又は國民學舍を設立すべきことを命ずることを得

第六條 教育組合は基本財產又は積立金を設くることを得

基本財產又は積立金の管理及處分は監督官署の許可を受くべし

第七條 省、特別市、縣、旗、市又は街村若くは之に準ずるものに關する法令により民政部大臣の行ふ職務は教育事務については民政部大臣及文教部大臣之を行ふ

第八條 勅令の規定により學校と稱するものに非ざれば學校なる名稱を用ふることを得ず

附則

本法は康德五年一月一日より之を施行す

▲國民學校令

第一條 國民學校は學生の心身の發達に留意して國民道德の基礎及び國民の日常生活に必須なる普通の知識技能を授け勞作の習慣を養ひ以て忠良なる國民たるの性格を育成するをその目的とす

第二條 特別市、縣、旗、市又は街村若くはこれに準ずるものは國民學校を設置することを得

街村及びこれに準ずるものゝ教育組合は國民學校を設置することを得、主管大臣必要ありと認むる場合において特別市に、省長必要ありと認むる場合においては縣、旗、市又は街村若くはこれに準ずるものに國民學校の設置を命ずることを得

第三條 縣旗長は一街村又はこれに準ずるものゝ資力國民學校設置に關する費用の負擔に堪へずと認むるときはその街村又はこれに準ずるもの及他の街村又はこれに準ずるものに國民學校設置の爲教育組合を設けしむることを得

第四條 縣旗長は一街村又はこれに準ずるものにおいてその數一國民學校に入學すべき學生の數一國民學校を構成するに足らずと認むるとき又は適度の通學路程內において一國民學校を構成するに足るべき數を得ること能はずと認むるときは左の例による

一、その街村又はこれに準ずるもの及他の街村又はこれに準ずるものに國民學校設置の爲教育組合を設立せしむ

二、その街村又はこれに準ずるものをして國民學校に入學すべき學生の全部又は一部の教育事務を他の街村、これに準ずるもの又はその街村及これに準ずるものの教育組合に委託せしむ

第五條 私人は國民學校を設置することを得

第六條 特別市、縣、旗、市又は街村はこれに準ずるもの又は教育組合の設置する國民學校はこれを公立國民學校とす

私人の設置する國民學校はこれを私立國民學校とす

第七條 國民學校の設置および廢止は省長又は特別市長の認可を受くべし

特別市の設置する國民學校に付ては主管部大臣の認可を受くべし

國民學校の設置および廢止に關する規則は主管部大臣これを定む

第八條 國民學校の修業年限は四年とす

第九條 國民學校に入學することを得る者は年齡滿七年以上の者とす

第十條 國民學校の編制および設備ならびに學科目及びその程度に關する規則は主管部大臣これを定む

第十一條 國民學校においては主管部大臣の定むる所により學生をして文教部大臣または崇政部大臣の著作權を有する教科書を使用せしむべし

第十二條 國民學校においては授業料を徴收することを得

全校國民學校の授業料の額は省長の認可を經て縣旗市長これを定む、特別市の設置する國民學校については主管部大臣の認可を經て特別市長これを定む

第十三條 國民學校の教師は主管部大臣の下附する教師免許狀を有する者たるべし但し主管部大臣の定むる所によりこれを有せざるものをもつて代用することを得

國民學校教師免許狀に關する規則は主管部大臣これを定む

第十四條 公立國民學校の校長及び教師の俸給、旅費その他の諸給與及びその支給方法は主管部大臣において定むる準則に基き特別市長又は縣旗市長之を定む

第十五條 國民學校の校長及び教師の職務及服務並に教師の任用及び解職に關する規則は主管部大臣之を定む

第十六條 國民學校の校長及び教師は教育上必要ありと認むるときは學生に懲戒を加ふることを得

第十七條 國民學校の管理及び監督に關し本令に規定なき事項は主管部大臣之を定む

第十八條 本令の規定によらざるものは國民學校と稱することを得ず

第十九條 本令施行のため必要なる規則は主管部大臣これを定む

附則

本令は康德五年一月一日よりこれを施行す、本令施行の際現に官の許可を受けて設立したる初級小學校は國民學校の認可權を有する官署の指定する所により國民學校、國民學舍又は國民義塾の認可を受けたるものと看做す

▲大學令

第一條 大學は鞏固なる國民精神を修練し國家に須要なる高等の學術の理論及び實際を修得せしめ、もつて國家樞要の人材を養成するをその目的とす

第二條 省又は特別市は大學を設置することを得

第三條 私人は大學を設置することを得

第四條 省又は特別市の設置する大學は公立大學とす、私人の設置する大學は私立大學とす

第五條 大學の設置及廢止は主管部大臣の認可を受くべし

大學の設置及廢止に關する規則は主管部大臣之を定む

第六條 公立大學の位置は主管部大臣之を定む

第七條 大學の修業年限は三年とす、但し必要により一年以內之を延長することを得

第八條 大學に特修科を置くことを得

特修科に關する規則は主管部大臣之を定む

第九條 大學に入學することを得る者は國民高等學校若くは女子國民高等學校を卒業したる者又は主管部大臣の定むる所により之と同等以上の學力ある者とす

第十條 大學の修業年限、[illegible]制及び設備並學科目及その程度に關する規則は主管部大臣之を定む

第十一條 大學においては授業料を徴收すべし、但し特別の事情ある者に對しては之を減免することを得

授業料の額は主管部大臣の認可を經て省長又は特別市長これを定む

第十二條 大學の學長および教師は教育上必要ありと認むるときは學生に懲戒を加ふることを得

第十三條 大學は主管部大臣これを監督す

第十四條 公立大學の學長および教師の俸給旅費その他の諸給與および其の支給方法は主管部大臣これを定む

第十五條 大學の學長および公立大學教師の職務及服務並公立大學教師の任用および解職に關する規則は主管部大臣之を定む

第十六條 大學の管理および監督に關し本令に規定なき事項は主管部大臣これを定む

第十七條 本令の規定によらざるものは大學と稱することを得ず

第十八條 本令施行のため必要なる規則は主管部大臣これを定む

附則

本令は康德五年一月一日よりこれを施行す

奉天高等農業學校、新京醫學校、哈爾濱高等工業學校および哈爾濱醫學專門學校は本令施行の日より大學と看做す

日鮮滿台間小荷物の空海陸連絡運輸

鐵道總局が實現急ぐ

【奉天國通】鐵道總局では日鮮滿道絡のスピードアップと空陸海道絡輸送範圍擴大の見地より東京で開催された日鮮滿台空海陸道絡運輸協議會は滿洲國營自動車路線、黑龍江松花江、ウスリー江各航路の參加ならびに滿支航空路(惠通公司)の參加勸誘を提案して、從來の日鮮台道絡を名實共に日鮮滿台支空海陸道絡コースたらしめんとの提案をしたが、時期尚早として次回に決定を延期されることゝなつた、而して年來の懸案となつてゐる空海陸道絡小荷物運輸の實施は本議に採擇されこれが速急實現を圖るべく總局が中心となつて基本案を作製來る六月上旬關係輸送機關を奉天に召集して最後案を決定遲くとも八月一日より實施を見る運びとなつた、小荷物空海陸道絡運輸實施により日鮮滿台各主要驛または接續地で託送すれば途中何等の積替へ手續きを要せず海空陸各コースをリレー式で目的地までスピード輸送が出來るわけで、日本內地の新鮮な味覺をもつ果實や咲き誇る草花から急ぎの小荷物まで簡易な手續一つで滿洲奧地まで送りとゞけられるといふ便利なもので、各方面から速急實現を待望されてゐる

鮮滿產業貿易懇談會 京城で開催

【京城國通】鮮滿を一貫する產業ならびに貿易の連繫及その積極的進行を課する鮮滿產業貿易懇談會は卅日午前十時から總督府に開催、特に歸途にある滿洲國實業部大臣丁鑑修氏も臨席、鮮滿產業、貿易の積極的伸張ならびにその聯携に對する方策如何の問題を中心に交通、關稅各部門ことに國境他における資源開發に關する聯携方策について意見の開陳が行はれたが、その結果に基き總督府では今後の鮮滿國境貿易伸張の重大進路を確立する筈である

奉天飛行協會のグライダー練習

【奉天國通】奉天飛行協會では本年度より積極的に飛行思想涵養のためにグライダーの練習を開始することゝなり五月三日午前九時から〇〇部隊飛行場において滿鐵醫大、滿工その他の會員八十名參加の下に藤岡、丸山、島田の飛行教官の指導で、プライマリー機で猛練習を開始することゝなつた、なほさきに結成された航空少年團六千名を總動員して飛行思想の涵養防空訓練を行ふべく計畫を進めてゐる

小兒運賃改正認可さる

【奉天國通】鐵道省の子供運賃改正と伴ひ鐵道總局ではこれに呼應して社、國線小兒運賃の改正を斷行、日本內地同樣現行の小兒無賃制限滿四歲を滿六歲に引上げ、大人一名につき無賃小兒二名までを認めることゝなり、滿鐵本社ならびに監督官廳に申請中のところ卅日認可指令に接したので來る六月一日より日鮮滿同時に小兒運賃の改正を實施に正式決定した

コドモペーヂ

勇しい鯉幟を立てようよ！
端午の節句が近づいた
節句の由來を知つてゐますか

端午の節句は五節句の一つで五月の節句である。五月の五日をこの節句の月と決め、三月三日の節句が女の子の節句であるに對しこの五月五日は男の子のための節句です。この五月五日の節句を端午の節句といふのは五月の始めの

午の日

がこの節句ですから午の端めの日即ち端午といふのだと云はれてゐます。この節句の起りは支那にあるのです昔支那に高辛といふ人があつて、一人の心掛の惡い子供をもつてゐました。この子供が五月五日に舟に乘つて海を渡らうとしたとき俄に風が吹いて舟が沈みました。そしてそれからと云ふものは水神惡鬼となつて人をなやましてゐたそこで人々は相談の末五色の糸でチマキを結んで海の中へ投げ入れたら五色の

蛟龍

となつて天に昇つてしまつた。そこでその後は人は災難を受けなかつたと云はれてゐます。これからチマキを作ることが起つたと云はれてゐます。

日本では今から千二百年前の、聖武天皇の時か始まつたと云はれてゐます。それ以來づつと今日まで行はれて來ましたが、就中、徳川時代は一番盛んに行はれました。武士はこの日は必ず帷子を着て總登城をしました。又武士の家では鎧、兜、太刀、弓などの武器を飾りました。これに對して町人は五月幟を立てゝこの日を祝ひました。

この日の飾り物としては鯉幟が第一です。これは男の子の節句には如何にもふさわしいものです。次に「しやうぶ」はこの日につきもので、何處の家でも

しやうぶ湯

を作つて入ります

それからチマキを作つて近所へ配る習慣が前々から行はれてゐますこの他にしやうぶ刀や飾り人形なども飾られます

童話 鳩と少年

道見俊

初めて學校へ入つた日には俊や順太郎は活潑な二人の少年と知り合になつた。一人は俊ちゃんと呼び一人は正ちゃんと呼ばれる少年であつた。この三人はみんな一人く顔貌の違つてゐるやうに性質も違つてゐました。そして境遇もまるで違つてゐました。その爲に三人は互にねたみ合つたり、うらやみあつて

(幾日)

も口をきかない事もあつた。然しこの三人はどこか互に引つける不思議の力をもつてゐた。そのために性質がこんなに違ふのに親しかつた。ある日曜日に前々から約束して正ちゃんの家へ集つた。

そして三人が屋根の上に上つて、鳩小屋から鳩を追い出した。滿腹してゐる鳩は、はゞたきし乍ら一羽づゝ飛び出て

てゐた。俊ちゃんは先きについた棒をふり廻した。驚いた鳩は急に高く空に舞い

(紐の)

上つた。始めは丸く圓を畫いてゐたが、段々高く高く上つてゆきました。二三羽の鳩は青空にまでつくかの如く高く昇つてゆきました。他の鳩は宙返りをしてゐたがまるで花

列を作つて屋根の端に並んだ輝く日光を浴び乍ら、ボッボッくと鳴いて三少年を眺めのひらくまい上るやうでした。そして見る見る内に矢のやうに飛び去つて影も形もなくなりました。三人の少年達

は互に頭をかしげて考へ込んでゐました。そして空中を自由自在に飛べる鳩を心から羨やましく思つてゐました。空中を思ふまゝに飛んでゆくなんて何と愉快なことであらう そして鳩の

(群が)

點々と遠くを飛んでゐるのを何時までも見つめてゐました。そして俊ちゃんは「友よ、我々もあの鳩のやうに飛べたらな……」と三人の思つてゐることを言ひました。三人は鳩の歸つて來るのを待つてゐたが、鳩はついに歸つて來ませんでした。

潮干狩 花見舟

尋五 岡不二夫 (八島校)

尋四 岩永晋 (八島校)

はと

八島校四年 堤慶人

僕の家にでんしやうはとが居る。とてもかはいい、小さなまんまるとした目はねの色、どこもかはいい、そのかはいいはとが、いつのまにかはこの中から逃出してしまつた。さあ、大へんいくらけいりやくをかけようと思つてもしつぱいばかり、弟が、「ポッポ、ポッポ」と叫びながらはとのとまつて居る戸口の所に行くとはとが弟の頭へ「ポタリ」と犬べんをかけたので弟が「ワァン母ちゃんポッポがうんこ坊やの頭にした」。とべそをかきながら大聲に叫んだので、みんなどつと笑ひました。すると弟はなきわらひじやなくて、べそ笑ひをしました。夕方すこしすぎに、お兄さんの友だちがやつてきて「おやはとがにげている。」と言つていましたが、一人の人が「ようし、なげなはでもつてみせる」と言つて、そこにおいてあつた、ひもをとつて、なげなわをつくりました、そうして、「えい」と氣あひをいれてなげました。ひもはするするとのびていつてはとのはねの所へひつかかりました。みんな「わあく」とさわぎました。あと四羽のこつて居ます。又なげるとこんどは、四羽の中の一匹のしつぽにひつかかりました。そのつぎはべつの人にかはりました。その人もなかなか上手で、一ぺんくひつかかりました。かうしてかはいいはとは皆もとのすにかへりました。

八重櫻 花吹雪

尋四 佐藤彰 (八島校)

童謠 菜の花みち

小暮妙子

菜の花花やぶ
黄ろいみち
カンザシ買ひに
ゆくこみち
ゆすればヒラく
てふも舞ふ
あさぎの空に
白い雲
ピロく草ぶえ
吹くこみち
菜の花黄い
春のみち

コドモ談話室

戰闘に威力を振ふ

‖機關銃の話‖

今では戰爭の機關銃は附き物になつてゐるが日露戰爭には日本では機關銃がなくて大變苦勞したさうです。今では日本も世界に誇る程の立派なのが出來てゐます。この機關銃は元來一個で何丁もの小銃の役目をしたものです。そうして一分間に何百發といふ彈を

自動式

に飛出させるために彈の出る反動を利用してゐるのです。又餘り彈の出る回數が多くなると銃身が熱くなります。之を防ぐのに水で冷すのと空氣で冷すのとあります。この機關銃にはどんな種類があるかと云ひますと

重輕機關銃

一人の兵士でかついで歩けるものが輕機關銃で、馬や車に乘せて運ぶのが重機關銃です。

高射機關銃

低空を飛ぶ飛行機は大砲ではこの機は間に合ひませんのでこの機關銃に上を向つてうてる樣に脚をつけます。これが高射機關銃です。

飛行機用機關銃

これは飛行機に備へつけてあるもので飛行機同志の戰に用ふるものです。

對戰車砲

戰車を打つには今迄は大砲で打つてゐたが戰車が段々早くなると大砲では間に合はないので機關砲で打つ樣になつた。こんな樣に機關銃に種類があるのは機關銃は彈が短時間の内に多く出て、發射速度が早く從つて効果があるからです。殊に動くもの例へば飛行機とか戰車等を打つにはどうしても機關銃を使はなければならないので機關銃の種類も増して來たのです。

用途が

まして今では戰爭と云へば機關銃を思ひ起する程になりました。然し機關銃では歯の立たない堅固な要塞とか戰車とかがあります。これにはやはり大砲でなければなりません。

ラヂオ

けふの番組

(M・T・D・Y) 新京放送局 二日(日曜日)

訪日宣詔記念日特輯

(朝) 六、三〇 ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連) 八、〇〇 氣象通報(大連) 八、一〇 總選擧ニュース(東京) 九、三〇 御訪日宣詔記念式典實況(新京大同公園式場より中繼) アナウンサー上森 一〇、三〇 總選擧ニュース

(晝) 一一、一〇 經濟市況(東京) 一一、二〇 講演(東京) 勤勞者の保護について 侯爵 大久保利武 一一、五九 時報(東京) 〇、〇五 總選擧ニュース(東京) 〇、四〇 ニュース(東京) 〇、四七 野球試合實況(東京)―明治神宮外苑野球場より中繼

東京大學野球聯盟リーグ戰 法政對帝大 明治對立教 野球休止の場合は左を追加す

○……後〇、五〇 新人洋樂コンサート(東京) 後二、一〇 長唄(東京)……○

左の時刻には野球を中斷す 二、三〇 總選擧ニュース(東京) 四、〇〇 ニュース(東京・新京)

(夜) 四、一〇 總選擧ニュース(東京) 六、〇〇 子供の時間(東京) 童話リレー三ちゃん武勇傳 樫葉勇外 七、〇〇 總選擧ニュース(東京) 七、一〇 ニュース・告知事項・番組豫告(新京) 七、三〇 總選擧ニュース(東京)

八、〇〇 訪日宣詔記念日滿交驩放送 (新京) 日本國歌 滿洲國新京軍樂隊 指揮軍樂上尉 張發 謹話 訪日宣詔記念日に際して 滿洲國參議 沈瑞麟 通譯 大藤傳治郎 (東京) 滿洲國歌 陸軍戸山學校軍樂隊 指揮樂長 岡田國一 挨拶 男爵 林權助 通譯 宮越健太郎

八、三〇 軍樂 (一)……滿洲國新京軍樂隊 指揮軍樂中尉 王殿陞 一、行進曲「凱旋」 二、皇帝訪日記念日滿交驩歌 (二)……指揮軍樂上尉 山田慶藏 序曲「生活の樂しみ」 八、四五 滿洲新歌曲(奉天) 奉天新滿洲歌曲團 編曲並指揮 神原泰男

一、桃源の夢 二、首振り人形の踊 三、谷間の姫百合 四、春の朝 五、桃花江 九、〇〇 管絃樂(哈爾濱) 九、三〇 時報・ニュース(東京) ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告(新京)

東京無線

九、五〇 總選擧ニュース(東京) 一〇、一〇 滿鮮交換放送(奉天) 滿洲雅樂 奉天自娛俱樂部 一、朝天子 二、萬年歡 三、勝令 四、千聲佛 五、歡樂歌 一〇、三〇 北滿の時間(哈爾濱) 一一、〇〇 總選擧ニュース(東京)

學藝

夢（上）

富岡ヒデミ

子供のある爲か、この家は、九時になると電氣をすつかり消して、シンとなる。

八郎は、二階だからかまはないのに、何故か遠慮で、小さいスタンドにスヰッチをいれた。四五日前、此間開店したばかりの〇〇に行つて買つて來たものなのに、工合よく、スヰッチが動かなかつた。

「今度直さなくちや……」

とつぶやきながら、可愛らしい光を見つめると、こんなものを、いとしんで買つて來る自分も、何と變な人間だらうと思はれる。

カーテンを、めくつて首をつゝ込んで見ると、足でちらせば、ビート糖の樣に輝くであらう粉雪がひら〳〵となだらかにつゞいてゐる。算へて見ると（先月の三十日が滿月だつたから…）十四夜位の月らしい。靑い光が一面にたちこめて、夢の樣に美しく明るかつた。

こんな景色は、詩人がうたへば、いかにも、誇張して聞えるし畫家がえがけば、きざに見える。

カーテンを元通りにすると彼は、ぼんやりと、椅子に座つた。眼はポカンとひらかれたまゝだし物を見ても見えない樣な樣子だつたが、彼は只呼吸を數へてゐたのだつた。

自分ながら馬鹿らしくなつて彼は誤らうと立上つたが、急に友からの手紙を讀む事にした。一年に一度か二度、この友からの手紙を受取るのだが自分は、それを讀む時少しも許する等の感情を抱かずに、そして自分から出す手紙もそんな風に讀んでもらふ事をのぞんでゐた。――返事も書かないし、一度讀むだけで、燒すてる習慣にしてゐた。友の方も、其通りにしてゐたからこの手紙は一種特別なものだつた、分厚いものだから、明日落ついて、讀まうかと、思つたのだが、此の手紙へのなつかしさが、やはり、待たせては置かなかつた。

それは手紙の形式をなしてはゐなかつたが、中にはずい分「君」と言ふ呼びかけが、使つてあつた。

□

伯父も伯母も好い人間で、僕を誰よりも、愛してくれてゐる事を僕はよく知つてゐる伯父や伯母の事を思ふとき、僕は、もつと彼等に、よき子となつてやらうと思ふのだ。僕がこんな事を言ふなんて、思へないだらう。だが僕は「えらい人」で通つてゐる人人の言ふ事を實行さへする程なんだ。

だのに僕はもうこの家に居たくない。伯父の眼を見ると、殺してやりたい程の氣になる上べは、すなほにしてゐるが、こんな恐ろしい氣持でゐるのは、一層危險に思はれるのだ。

四五年前迄は、感傷があつた死を思ふ樂しさ、悲しみを味はふ嬉しさ。そしてあの憶面のないうぬぼれ方。

あの何分の一でも、今、あつたら……

今年の春頃にほ、夢を見た。あの頃は、少し頭が變だつたらしい。恐ろしい夢を見た。大きな、振子が頭一ぱいにゆれた。だが時には、胸中もえあがるやうな、戀の夢を見たそんな夢を見やうとは思がけなかつた。戀など少しも氣にかけた覺えがなかつたから…。それなのに、二日ばかりも、興奮してゐた。

此頃は、ずつと夢も見なかつた。あの頃の樣に、樂しい事も苦しい事もない。だか、頭中が、カラッポになつてしまつた樣だ、

別に何も考へない、考へて見ると「今迄何か思つてゐたのかな?」と言ふ調子であるそして考へる事は自分が思ひがけなく全く突然自動車にでもひかれて死ぬ事ばかりでかある

聞きもしない事を聞いたやうに思つたり見もしないくせに只人から聞いたゞけの事を自分が出會つた事からの樣に思込んだり、（もつとも、之は小さい時から僕のくせだつたのだが）することがひどくなつた。

本當にあつた事なのか、自分が考へただけなのかはつきり區別のつかない事が多くなつた。

しかしもう、そんな事はなくなるだらうと思ふ。何故なら昨夜、床に入つてから、時計の音を聞いてゐる中に、その音に合はせて數を算へた、六十毎に右の指を折つて十分毎に左の指を折つて、たう〳〵一時間算へ通した。こんなに一ッの事を續けて出來たなんて、生れて始めてだ。しかも一秒づゝ三千六百迄もかぞへる間、身動きもしなかつた。

老來淡味

―里見弴の「T・B・V」―

里見弴の「T・B・V」（文藝春秋五月號）は期待した程のものでも無かつた。

タバコ、バッカス、そしてヴィーナス、この三つのものを追ひそれにすべてが盡きてゐたといふ物語の主人公が此處ではただ行きずりの人間のやうに扱はれてゐる。それも一つの手法には違ひないが讀み來つて甚だ感銘はうすいのである。

有島生馬の「蝙蝠の如く」の方が、もつと南歐的な生命感に溢れてゐた。里見の場合、作者もなほかの三つのものより離れてゐないことを書き添へてはゐるが、それにしても彼老來、制作の上に消極的で成果の實りすくないのを思はざるを得なかつた。數年前にはモダンな女に寄する愛などをあの熱烈さで描いた彼であつたのに…。（川内　堯）

漫畫の思想性

本田喜代治

風景畫、肖像畫、風俗畫などと一般繪畫に樣々のヂヤンルがあるやうに漫畫にもそれがあるだらうと思ふ。が、どの場合でも、いかにもこれを漫畫にしようと初めから力むでかゝつたやうな繪は餘り人を惹きつけない。逃避的な自嘲、單なるナンセンスの笑ひ、そして下品な穢りすら、今は漫畫の名の下に横行してゐるが諷刺藝術としての漫畫の本領はさういふところにはないと思ふ。漫畫のもつ輕蔑は小なる自己を無理矢理巨大に見せようとする卑しい意圖また感情から出たものであつてはならない。人類的な高處から大觀することによつて自からそれは生れて來るものなのだ。憤懣や憎悪にしてもそれは社會人間そのものの憤懣憎悪であり斷じて私の怨などではない。さういふふうな譜は〻客觀の濾過紙を一遍通つて來た憤懣や輕侮の情はたとひ自然物にでも立派に宿ることが出來、ゴッホや佐伯祐三の風景は―無論漫畫ではないが―何かしらさういふものを想はせるほど裡に激しく燃燒するものをもつてゐる。

それにしてもさうした憎悪や憤懣や輕蔑をそのまゝ眞正面から繪にしたのでは漫畫にならない。ゴッホや佐伯が漫畫家でない所以。さういふ感情を一定の距離をおいて、心持の上に多少の裕りをとつて表現する方法の一つがつまり笑ひであるが、漫畫はさういふ廣い意味の且つ上品なほろ苦い笑ひの藝術である。すでに笑ひの藝術であると云ふそこに打ち解けたところがなくてはならない。それは或る心理學者の所謂弛緩の心理の表出である。從つて漫畫が私怨でなく公憤を表現しなければならないと云はれるにしても袴を着け扇子をもつて畏まられるんぢや寛げない。こゝにとてもむづかしい境界線があるので、それは丁度深淵に架した刀の刄の上を渡つて行くやうな藝當だ。どちらに轉んでも助からない眞劍な漫畫はさういふものだと私は理解してゐる。

渡滿

清水繁夫

海峽の潮のながれにのれるらしゆつたりと船はゆれそめにけり

たのもしく吾が乘れる船大いなる靑うねり波を越えて行くかも

醉ふことをおそれて居れば船の窓たゝきて過ぐる渤海の雨

天さかり遠き國に行く子のうへを思へば母は悲しかるらむ

殘さるゝ母の歎きは思ひつゝやみがたくしてこの國に來つ

冷えしるき風雪となり四月のなかばと云ふに雪吹くこの國

蒙古風興安大路吹きぬけば面むけならず土雨のふる

いよよあすは渡滿の日なりふるさとのこの丘にまたいつやのぼらむ

立越えに父の墓場に通ふ道三の花咲きてびそけし

晚春

大脇歌津緒

灯はゆらぎやがて流れて

小徑は早や夏風を知りぬ

日毎あるものを

ふともまたながめゐしその頃

君はやはらげなる胸をつぼめて

窓の閉ぢぬを云ふ

我戀ふるをつげざるに

かくもまたうるほしき夜をおくれば

やがて春はたへなんに

君は淋しげに面をふせ給ふ

灯は流れ

夏風早も來りて

我が運命の春はうら悲し

古代アポロの彫像を發見

【ローマ國通】男性美の象徴と言はれるアポロの彫像で千七百年前作られたものが最近ローマから四十哩の海港アンツィオで發掘され學界にセンセーションを起した、彫像は海濱添ひの道路工事中工夫の手で發見されたのだが、等身大より稍々大きく紀元二世紀頃のギリシヤ彫刻家の手に成つたものと言はれてゐる、兩手と兩脚は失はれて居るが首から胴共に素晴らしい線を見せ、古代ギリシヤの高い藝術的香に專門家達は滿悅の有樣だ彫像は近く、ローマの國立博物館に送られる筈である

川柳募集吟

細井砂緒選

「雜詠」

處する道教へる父の二合瓶　井砂緒

職さがす瞳に新京の砂埃　同

ハンテング被りたくなつた春の晝　同

お茶引いて札占いも凶と出る　左門

幌馬車の魅力が春の街にあり　同

東京の凱旋門が目に殘り（陸軍記念日懷古）　都砂

奉天の一ッ煙草の消費高　三休

鶴嘴へ苦力これからを春にする　同

乳のはる失意の妻へ泣いてやる　一風

三圓のホテルブルジョアの夢　同

流行歌唄つて留守居まぎらせる　奈々子

不自由な學資へ母の賃仕事　同

ビルデング大將上から見下され　同

金言が怠情の俺をチクリ刺す　田田蟲

パスをした制服の子へ春うらゝ　同

子を亡くし社界學とはこんなもの　同

初七日お世話の禮へ醉つて見せ　美代姿

日曜の雨を淋しい場末の灯　同

春宵の心地机にもつて來る　泥兄

母となる日の唇紅は薄くつけ　同

子の重味背負つてバーの夜を稼ぎ　泥柳

初孫へ手廻のよい乳母車　同

世辭などへブッ切ら棒で慈なし　非呂子

引越の襷まんまの乳をやり　美規緒

騙け降りる子等に夕陽の影長し　同

名を二つ特務機關で顏が賣れ　牛彌

金策の紅茶を飲んで云ひそびれ　同

タイピスト社長の息を肩に知り　同

雜音は放送局へ腹を立て　喜貫坊

大臣の引繼二人並ぶだけ　同

十客

逝く春の心に觸れる細い雨　井砂緒

懐手してゐるらしい下駄の音　同

針の先程萌え出た芝生踏む　左門

新婚の小さく圍む食堂車　一風

このまゝでゐる氣まづさの二人きり　兄

ウエトレス上手に語る過去の戀　同

デパートのウインド春を押しつける　泥柳

滿洲の娘になりきつた肌のきめ　泥柳

こそばゆい世辭へうつかりまれる　泥柳

アパートの或る日階段數へられ　美規緒

五客

ピンポンの埃へ輕う陽が流れ　井砂緒

發車まで紅茶と坐る一人旅　一風

春風に嬲らせて行く緋の裳裾　都砂

モダン化を馬車夫觀念して坐り　泥柳

向ひ風突撃をする構へなり　喜貫坊

人位

硝子二枚われて貸家の札があり　喜貫坊

地位

向ふ岸までは屆かぬ石を抜け　兄

天位

母性愛猿が教へるいゝ日和　泥柳

隙少し開けるストーブも春のもの

流行唄うつかり開けばわからない

新入社氣兼ねの中のインク消

學藝消息

△鵜殿夫氏　六ケ月の豫定で熱河方面へ出張する

カフエー淨化革進の第一線へ

所謂水商賣から健全なる事業へ

新時代の先驅を承る ミス東洋の革進隊

安心出來る眞の大衆社交場 價格の經濟化と明朗のサービス 徹底したサービス料の合理化

ミス東洋經營主 前畑鎬平

滿洲事變に依つて、北滿の一寒村長春村は、一躍獨立滿洲國の首都として、名も新京と改稱され、皇居はもとより、施政の根幹・經濟の中心たる中樞機關の總てに集中されると同時に、大規模なる都市計畫は確立され、人口の增加、市況の活達は旭日の勢ひを以て進展し、將に東洋に於ける一大都市を目指して、その面目躍如たる折柄、顧つて吾カフエー界の現狀を觀るに、實に樂觀を許さゞる今日にあるを悲しむものであります

事變後當時の 事を觀ますとい實に業者、從業員共に、實に幼稚なもので、七八軒の店か、カフエーともうどん屋とも別らぬ樣な博覽會のバラック然として、外觀や内部の、裝飾は勿論、ムツカしい顏した女給が、入らつしやいとも。有難うございましたとも、言ひどころか呑みたくて來たかと言ふ樣なサービス振り、チップの壹圓位では……それでも空くテーブルを待つて、い滿洲酒にマヅイ料理〃押しつけられて、ヤンサ〳〵の大騷ぎで、相當ボロ儲けをした店も有つたでせう爾來、日に月に、人口の增加に先んじて、同業の亂立、設備の改善、宣傳の競爭、等々は、勢ひ經常費の膨張となり、加へて世相の風潮は、過度期を過ぎて、穩健なる生活狀態に推移し、近時殊に諸物價の暴騰は日常生活恐威を感ぜしめ、總ては經濟化を叫ばれるに至りました

この秋にあたり、 吾々のこの不合理な收支狀勢を、業者自體は如何に拾收するかが今吾々の大に惠眼、達觀して自ら覺醒す可き秋ではないかと思ひます、世上、カフエーは即ち水商賣である、永遠の仕事でない、短期間に儲けるべしボルべし、然して轉業すべしとは巷間よく耳にする所でありますが、時代は既にかゝる所謂水商賣でなく、健全なる事業として、豪放絢爛たる、大衆娛樂文化施設と相俟つて時代の狀勢に順應した明朗と經濟の絕對合理化された、大衆社交場として、靑樓や料理屋に超越した

享樂機關 として、家族同伴で歡樂が出來、會食に商談に、親睦に、簡單に經濟的に手輕く利用出來得る健實な事業とならざる可からずと思ひます殊に女子從業員所謂女給の質の向上に就て、現在迄、業者從業員自らも、聊か無關心で且放縱で、爲めに往々にして、微々たる問題にも兎角話題に上る事態の頻發するは、又止むを得ぬとされた感も無きでもなかつた樣に思ひますが、既に今日は、時代に、順應して眞の職業婦人としての、意義を鮮明にし、社交場裡に働く婦人として、恥しからぬ常識と、明朗な社交術によつて、あらゆる大衆に遺憾なき氣分を滿喫出來る樣に修養訓練の要があると思ひます

要するに カフエーの本質はあくまで明朗であり享樂的であり、簡單であり經濟的であり、即ち感覺味覺の共通した、眞面目な社交場であると同時に、完全なる慰安場でなくてはなりませぬ、從つて其享樂價値と、これに對する負擔の均衡が尤も公平でなくてはなりませんが、從來往々にしてこのカフエー本來の本質を忘れ、業者從業員均しく淫蕩に流れ、自己を省る暇なく遂に「カフエーはウツカリ遊べない、馬鹿らしい安心ならぬ」等々に依る非難にノツクアウトされんとして居ります

私は茲に カフエー本來の特質を把握致す可く斯業淨化革進の一線に立ち、先驅者の勇をふるい、諸物價暴騰の折柄に拘らず大英斷を以て設備の大改善、飲食物の質と量の精撰と低廉女給品性の向上、サービス料の制定御勘定の明瞭等を斷行致しまして、安心ならぬ現狀を打破し、安心出來る眞のカフエーとして專ら精進し、以て大方の御愛顧の萬分の一に報ゆる事を得ばやとの念願と共に倍舊の絕讚と、御引立の榮を願はしう存じ上げます

マスターの革進訓活について朗らかな座談會が開かれました
客席では箸もホークもとらぬ彼の女達ちもこうした御馳走にニコ〳〵と
淨化意見に花が咲いて愈々ここに革進隊の策戰は出來上りました

若き女性のたぎる情熱の頰に
ヒラヒラと散るは櫻か花か
(階上花見茶屋にくつろいで)

酒なくてナンノ己れが櫻かな(櫻花に埋もれた階上サロンの酒宴)

……早くも擧る革進隊の凱歌の聲……

來るべき問題の解決

サービス料の制定を斷行

煩はしき過去解消 女給生活の安定

元來女給は古くから女性[illegible]觀客の傳統的習慣に依つて御客樣の御心付けを唯一の收入として、これに依つて彼女達は生活道を開いて居るものたる事は均しく世の知らるゝ所であります、即ち女給に對する御心附けは社會に活躍する眩るぐしい、近代人の活躍の慰安に、完全にピントの合ふサービスに依つて得る 厚意の報酬であり、感謝の進物であります

故に 相對的に無限であり、自由であり受くるもの、其の多寡に係らず、只その厚意を額首拜爾す可きであり、又無報酬とて不平を云ふ可き性質のものでありません、さればこの自由の取引に對してサービス料等その言葉さへ、不隱當の樣に思はれますが、然し翻つて冷靜に慮るに此心付けはサービスに對する厚意の報酬であり進物であるとは言ひ乍ら、無限且自由なるが故に、其程度に於て、其サービスと

其員 數に依つての判斷と、遊興圈内に於ける異性觀念と、社會狀勢の推移に依る經濟觀念とが常に、これを與へんとする顧客の腦裡に一沫の煩はしさを感ぜらる事は、確かに爭はれぬ事實と思ひます、と同時に、相對する女性も亦立場を異にする同じ觀念に捉はれるは又止むを得ぬ程と思ひます、これ即ち自由の不自由であり、不合理な御度習慣とも言ひ得られるのではないかと思ひます、故に

この 二つの立場及店主即ち三つの立場から考究された尤も合理的な公平な標準を得るならば、相互的に、この煩はしさは解消され明朗と安定の境地に達する事を得ると思ひます、勿論こゝに社會常識の訓練と修養を積んだ女性其ものゝ、性質の向上が最も先決であります私は疾くからこの點を眞劍に眞面目に苦心研究致しまして日夜女給の指導訓練に心膽を傾注し且漸く茲にこの公平な標準(但し私の店としての)を得ましたので誠に勝手乍ら思ひ切つて、この

制定 を斷行致しまして、おこがましさ顧みず、サービス料として御勘定に明記さして戴く事にいたしましたが、然し元よりこのサービス料は御客樣の御意志に依るもので絕對的のもので御座いませんから御客樣の御承認なき場合は決して頂戴いたしません(ハ主人謹白)

弊店開業以來五ヶ年、皆樣の厚き御愛顧の賜に依つて、今日ある事を得ました事を厚く〳〵御禮申上げます

尙向後益々皆樣の御愛顧に報ゆる爲め、且吾れ等の使命の爲め最善の努力を盡したいと懸命になつて居りますから、幾久しく御引立の榮を賜はり度一同茲に御挨拶を兼れ御願申し上げ奉ります

店長　前畑鎬平
支配人　藤原粲男
會計主任　渡邊靜夫
レジスター　渡邊玉枝
用度係　稻島實
宣傳部長　鈴木正美
裝飾部長　加藤義一
西洋料理主任　山西輝美
日本料理主任　水島勝行
酒場主任　白金清
接客整理　長谷川清
食堂主任　稻垣美太郎
調理部　石川政雄
同　山本松男
同　池田良太郎
同　朝井一郎
酒場部　林龍雄
同　加納敏子
食堂係　菊池秋夫
同　今井三郎
同　安達要
音樂係　松井春子
社交係　秀子　幸子　君子　みどり　八重子　かほる　照代　彌生　富子　益美　潮　町子　濱の　早百合　みさを　孝子　絹代　澄江　美智子　叶子
光　千鶴子　八千代　忍　春美　奈々子　一枝　清美　良子　里美　都　明美　文代　榮　のぼる
ラウンドガール　もゝ子　サクラ

グランドキヤフエー・ミス東洋　電話(三)五八二〇番　三八二八番

全滿美術の粹蒐め
けふ宣詔展蓋開け
大經路小學校、公會堂に飾る
絢爛、五百餘點の出陳

滿洲國春の書甯を飾る滿日文化協會主催・文教部後援の訪日宣詔記念美術展覽會はけふ二日宣詔の佳日をトし向ふ一週間(毎日午前十時より午後七時まで開場)大經路小學校講堂(第一會場)及び新京記念公會堂(第二會場)にて絢爛たる美術の粹を蒐め盛大に蓋開けするが滿洲國藝術史上不滅の金字塔を打ち樹てる同美術展覽會に相應しくその搬入總點數實に一千二百六十六點(內譯、東洋畫四百三拾點日本畫五拾四點、西洋畫四百五拾四點、洋畫二百八拾五點彫刻十九點)に上りこれに對し三十日、一日の兩日に亘り東洋畫と書は相談役松林畫伯羅振玉、寶熙、袁金鎧、沈瑞麟、榮厚の諸氏、西洋畫は相談役藤島、安井兩畫伯によつて嚴重審査を行つた結果左の如く入選作及び特選を決定する一方協會では一日午後一時三十分優秀作品三十二點を宮內府に持參これを天覽に供し御說明役として藤島、松林兩畫伯と共に榮協會常任理事が參內、種々御下問に奉答するところあつた、入選作品は△東洋畫(七十四點の他特別出品五點)△日本畫(四十七點)△西洋畫(三百八十二點)△法書(六十九點の他特別出品十四點)△彫刻(十三點の他特別出品四點)である

入選者發表(授賞作品 天覽作品)

「水墨山水」車成桂、奉天「雨中赴約」孫萬清、哈爾濱「山水」查仲、鐵嶺「梅花」李香海、新京「墨竹」張紫楓

▽日本畫(特選)新京「秋晴」名越富子、(佳作)「少女」森川壽美子、奉天「春」根本楓香、大連「曉の銀岑」金井廣章

▽西畫(特選)新京「或る漫畫家の像」今井一郎、「無題(一)」白崎海紀、奉天「撫順街道」芝山秀松、普蘭店「タマラ」柳英夫、大連「熱河風景」福田義之助、(佳作)新京「伊太利風景」三井良太郎、同「紅衣の姑娘」勢滿雄、同「グランドのある風景(水彩)」石田猛火子、奉天「朝(南フランスヴイルフランセ)」佐藤功、大連「露台より」楢原建三、同「巴里の街角」後藤眞吉、新京「婦人像」二瓶世等觀、「公園」尉文居、同「古栢」溫鳳伯、吉林「白塔(水彩)」劉吉光

天覽作品

▽東洋畫　新京名越富子「秋晴」同森川壽美子「少女」同益田豊年「牡丹」奉天根本楓香「春」撫順渡邊星陵「閑庭雨後」大連伊藤順三「千山仙人台」同金井廣章「曉の銀嶺」新京趙松齡「山水」三岔河王殿淮「秋山行旅」哈爾濱查仲「山水」奉天于蓮谷「聽泉圖」金州車成桂「水墨山水」吉林謝友生「世外桃源」

▽西洋畫　新京白崎海紀「無題」同今井一郎「或る漫畫家の像」同池邊貞喜「宮庭御造榮地附近」同淺枝次朗「春光映心」奉天佐藤功「朝(南フランスヴイルフランセ)」奉天芝山秀松「撫順街道」同河南拓「靜物」大連樽原健三「露台より」同福田義之助「熱河風景」同二瓶等觀「婦人像」哈爾濱大部六藏「女」普蘭店柳英夫「タマラ」同劉榮楓「滿洲城外」新京尉文居「公園」

授賞作品

▽東洋畫(特選)吉林「世外桃源」謝友生、奉天「聽泉」于蓮客、(佳作)三岔河「秋山行旅」王殿淮、新京「山水」趙松齡、金州

"技術的には幼稚だが將來性に期待"
洋畫第二部相談役審査談

今度のこの展覽會は滿洲國の新しい美術の出發で全くどんなものが現はれるか豫想できなかつたが、集つた物を見て幾分安心した、尤も今回は最初の催に拘らず意外に多くの作品が搬入されて居たのには驚き喜びました、殊に邊鄙の地方からの物も相當あつたことは其美術に對する熱心さ眞劍さを表はすもので、だが大體に於て專問的に修業して居る人が比較的少いので技術的にはまだ幼稚なのが多數ありましたがそれだけ將來の發展が期待せられる、畫材として其地方の風景や人物が扱はれて居るのは良い矢張實際見たものを寫實する事が最も堅實な道で、特選佳作の諸作は各々の仕事があり技術的に確かな處があつて美しいと思ひます、滿洲人の出品畫も思つたより多く二、三の他は可なり稚拙な物ではあるが、仕事に粗雜さがなく色彩的にも非常に特長があつて將來たしかに良い作が生れるだらう、今年は時日がなく多少の不備不滿の點がありますが、今後も毎年全國的な展覽會が開かれてもつと量質共に充實した、健全な滿洲國美術展覽會が開かれる樣になれば誠に嬉しいと思ひます、尚今年の鑑査はゆるやかな方でありますから出品者は入選したからと云つて安心してはいけないと思ひます一層の研究努力を望みます

個性の缺如
松林畫伯談

滿洲國の東洋畫は今の狀態では眞の藝術の意義と自覺に乏しく古い傳統と素地があるに拘らず全然その基礎工作が閑却され、寫生に對する研究心がない上に單に觀て描いたと言ふに過ぎない、從つてそこには藝術的生命たる個性の閃めきが少しもないと思はれた藝術は畢竟するに民族精神の反映であるから今少しローカルカラーに富んだ作品を描きつゝ東洋に於ける民族性のみが味はひを研究し盛り立てゝ行く事を心懸け、こうした試みが日本の帝展の出店のやうなものに落ちぬやう心懸けて慾しい、今日は滿洲國皇帝陛下に親しく拜謁し種々御下問に奉答、卑見を申述べたが斯道に對する陛下の御見識が非常に高邁であらせられたのと第一回美術展にかくまでお心を寄せられてゐることに恐懼した、日本側の出品も見たがこれは消略して免に角滿洲國の美術、土地の藝術を盛立つて行くことに精進されることを附け加へて置く【寫眞は陳列を終へた宣詔展(公會堂)】

訪日宣詔記念武道大會
けふ白菊校で擧行

二日午前八時から白菊小學校に於て擧行せられる訪日宣詔記念武道大會の組合せは次の通りである

▽劍道
‖A組第一回戰‖
滿拓A對弘道館
商業A對軍政部A
滿鐵C對首都警察
第二回戰(不戰一勝)
日滿商事B對中學C
民政部A對關東軍
土木局B對財政部B
滿鐵A對專武館
中學B對電々A
中銀B對實業部B
‖B組第一回戰‖
滿鐵B對日滿商事A
大興公司對市公署
第二回戰(不戰一勝)
軍政部B對中學D
土木局A對商業
中銀A對電々B
滿拓B對中學A

▽柔道
‖A組第一回戰‖
財政部A對滿鐵D
商業B對中央警察校
總務廳對民政部B
首都警察對京中D
實業部對總務廳
水力電氣對民政部
京商C對中銀A
京商A對滿鐵B
‖第二回戰出場組‖
財政部、京中A、武德會B
‖B組第一回戰‖
京商B對京中B
滿鐵A對武德會A
滿拓對電業
中銀對國際
‖第二回戰出場組‖
軍政部、京中C
電々、土木局

滿洲國文武官 宮內府に參內

けふ訪日宣詔記念日に際し滿洲國在京文官簡任及び同待遇以上、武官少將及び同待遇以上並ひに勳一位拜授者は午前十一時十分宮內府に參內拜謁後賜宴に列する

國務院の式典

國務院に於ける訪日宣詔記念式典は午前八時より同講堂に於いて日滿兩國國歌合唱、御眞影奉拜、回鑾訓民詔書捧讀國務總理大臣訓辭の式次により執行する

東久邇宮殿下
南嶺戰蹟御見學

東久邇宮盛厚王殿下には些かの御疲勞の御樣子もなく極めて御元氣にて一日午後二時南嶺に向はせられ戰蹟を御熱心に御見學更に午後四時二十分寬城子御着附近の戰蹟を具さに御視察のうち五時三十分御氣嫌麗はしく御宿舍小松部隊に入らせられた(寫眞は木村大尉より戰蹟御說明御聽取の東久邇宮殿下、右端御二人目起立されてゐるのが殿下)

鞍山二敗喫す
5—3 電々軍快勝

鞍山昭和製鋼所對新京電々の野球戰は一日午後五時から西公園球場にて球審孫、壘審赤松、片岡三氏審判の下に電々の先攻にて開始せられたが、結局五對三で電々快勝、鞍山は新京に於ける第二戰も失つたわけであるが、八回鞍山手島投手は一死後シーズン最初の左翼塀越大ホームランをカツ飛ばした閉戰六時四十分

(先)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
電	0	4	0	0	1	0	0	0	0	5
鞍	0	0	2	0	0	0	0	1	0	3

△一回(電)稻田二飛、櫻井左飛、宇多村四球を得たが迫畑直飛▲(鞍)牟田口直飛、野付三飛、手島投飛(兩軍—0)

△二回(電)村上右越安打に出で小林投飛暴投に生き行吉死球に無死滿壘、永野タイムリーの中越安打三者生還、近藤二飛、稻田四球櫻井右飛に永野生還、宇多村左飛に止んだが一擧四點▲(鞍)三者凡退(電4—鞍0)

△三回(電)無爲▲(鞍)吉田四球に出たが江口の遊飛に封殺山崎中越安打、牟田口三飛失に一死滿壘野村タイムリー中前安打に吉田生還したが中堅返球よく山崎本壘に刺され、手島の中越安打に牟田口生還二點を返へしたが長野三飛(電0—鞍2)

▲四回(電)行吉三振永野遊飛失に生き近藤左飛後投手牽制に永野刺殺▽(鞍)渡邊右飛、岩崎投飛、吉田三飛(兩軍—0)

△五回(電)稻田四球、櫻井の二飛に封殺され、宇多村の左前安打に櫻井生還迫畑左飛、村上遊飛▲(鞍)江口遊飛暴投に生き山崎中飛後牟田口四球を得たが野村中飛、手島投飛(電1—鞍0)

△六回(電)小林四球、行吉に代る鈴木遊飛、永野中前安打に出たが近藤、稻田ともに中飛▲(鞍)長野、渡邊ともに遊飛、岩崎左越二壘打に出たが吉田中飛に三壘封殺(兩軍—0)

△七回(電)櫻井二飛、宇多村一飛、迫畑遊飛失に生きたが、盜壘成らず▲(鞍)無爲(兩軍—0)

△八回(電)三者凡退△(鞍)野村一飛後手島左翼塀越のシーズン最初のホームランを出したが後援續かず(電0—鞍1)

△九回(電)永野四球に出たが近藤捕邪飛、稻田二飛、櫻井二飛▲(鞍)無爲(兩軍—0)

▲メンバー

電	稻田	櫻井	宇多村	迫畑	村上	小林	行吉	鈴木	永野	近藤
	8	9	7	2	5	4	3	3	1	6

鞍	牟田口	野村	手島	長野	渡邊	岩崎	吉田	江口	山崎
	6	9	1	8	2	5	7	3	4

▲トータル

	打	得	盜	振	四	犧	失	安
電	32	5	1	1	6	6	2	3
鞍	31	3	0	1	2	3	1	3

けふの野球
鞍山對電業(午後四時開始 西公園球場)

金融ギャングに飽まで斷の鐵槌
高利貸續々取調べ

附屬地行政權移讓を前に過去三十年間日本行政の名にはじぬ立派なものとして滿洲國に返上すべく關東局では斷乎街の紳士一掃に努めつゝあるがそれと同じ目的のもとにはじめられた新京署の高利貸征伐は最近益々峻烈を極め始んど連日の如く良民の膏血を搾る惡德金融業者が高等に出頭取調べを受けてゐる、中でも最も憎むべきは一度び警察の高等に呼び出されその不正事實を指摘されてゐながら洒々と新聞廣告等に依り當局諒解のもとに金融業を營だものなりと逆效果をねらつて惡事を重ねてゐる面從腹背の徒もあり、一流の會社、官廳等に勤めてゐたら祕密に或は他に身替りを立つて高利貸を營んでゐる知名士も少なくなく警察當局としては飽く迄健全な庶民金融の圓滑を圖るためこれ等法網にかくれた社會の僞善者を徹底的に屠り去るべく斷乎たる決意を持してゐる、現在迄に新京署で取扱つた高利貸の多くはその常套手段として調査料手數料等の名目で不當の金をまき上げ、白紙委任狀、實印をあづかり自分で好き勝手な事を書き込れる樣にして置いて借用者を精神的に脅威し元金の何倍かの金額を請求してゐるものもある更に大規模なのは會社員官吏等のみならず商人を相手に借用書でなく銀行手形、小切手を抵當に多額の金融をなしてゐるものもあると豫想されてゐるが商人等は店の信用保持上實害を受けてゐ乍ら泣寢入りしてゐるものも多數に上つてゐる、尚一般市民は此度の警察當局の處置を頗る當を得たものとして好評嘖々たるものあり爾後斯る不良金融業者出現の餘地なき迄に鐵槌を下されん事を要望してゐる

東本願寺別院 昨日上棟式

東本願寺滿洲別院の上棟式は一日午後二時半から來京中の山邊習學師を始め在滿各東本願寺住職、請負者側福昌公司代表者その他一般信徒三百餘名の參列裡に佛式にいとも嚴かに擧げられ、終つて祝宴が張られた、なほ同院工事概要は敷地三千六百六十二坪餘、本殿建物面積四百六十九坪餘その他庫裡、廊下、書院等總建物面積九百十一坪餘、構造は鐵筋コンクリート造り屋根銅板本葺で竣工豫定は本年末である【寫眞は上棟式々場】

プレーンソーダ

新京署刑事部屋の御大池田さん連日張りきつた猛者連を指揮して些も疲れをみせない、一見した人はナントマア精力絶倫なおぢさんと思ふかも知れないが本當は至つて優しい心の所有者だ▼ある時十七、八の不良を取調べ乍ら「こんな小供がねえおとなしい顏してゐるのにどうしてそんな惡い事するんだろう」同情すると云ふよりもあはれみ深い顏をしてつぶやいてゐた▼池田部長口で叱つても心は…血も涙もある人間であります

八島校父兄會 役員決定

八島小學校父兄會總會は既報の通り一日午後一時から開催授業參觀の後總會に移り役員改選の結果會長には前副會長籠谷保氏、副會長には前評議員黒田實氏がそれ〲推薦され決定した終つて教材映畫數卷上映され午後五時閉會した

六人に一萬圓
彩票卅九回から發行增加

福民獎券の賣行良好に鑑み滿洲國財政部では第三十九回から毎月發行額を三十萬圓に增加し發行號數は三十萬としこれを甲乙丙丁戊己の六組に分ち毎組五萬號を發行することに決定四月三十日政府公報をもつて公告した、これで一萬圓の福運を摑む者が六人出來るわけである

彩票を不正販賣、捕はる

原籍富山縣、特別市興安胡同藤村太郎(五〇)—假名—は昭和七年に漂然と渡滿朝鮮人民會に勤務の傍ら薄給で子女の養育に當てるべく惡いことは知り乍らも福民獎券の不正販賣をなして利益を得てゐたが新京署の探知する處となり目下取調べを受けてゐる、尚同人に福民獎券を融通してゐた奉天朝鮮人民會長西尾某氏も當然責を負はされるものとみられてゐる

自轉車檢査 領警署管內は成績不良

新京署並びに領警署の自轉車々體檢査を先ず終了したが新京署管內は成績頗る良好で五千餘台の內四千台を受驗濟み領警署管內な比較的無く總數二千七百台の內約半數の千三百台の受驗者あつたのみで更に四日に車體檢査を爲すこととなつた、受けざるものは必ず同日出頭の上檢査を受けられ度しと

萬俵號獻納記念遊覽飛行 けふ擧行

荒天のため延期されてゐた愛國機萬俵號獻納祝賀國都遊覽飛行は二日日曜日をトして午後一時から滿航新京飛行場で擧行するが申込者は同時刻前に來場されたいと

大相撲夏場所

【東京國通】大相撲夏場所番附は一日午前五時三横綱、三大關の豪華版を發表したなほ幕內は從來の二十一名のものが二十二名となつた

△東方
張出横綱
大關 武藏山　横綱 玉錦
小結 双葉山　關脇 大邱山
同 玉の海　前頭 九州山
同 和歌島　同 出羽湊
同 土州山　同 前田山
同 柱川　同 新海
同 大潮　同 巴潟
同 名寄岩　同 大八州
同 防長山　同 星甲
同 金湊　同 大潟
同 番神山　同 三熊山

△西方
張出大關 鏡岩
大關 清水川　横綱 男女川
小結 兩國　關脇 旭川
前頭 海光山　前頭 五つ島
同 笠置山　同 綾川
同 號里　同 盤石
同 播瀨川　同 高登
同 綾昇　同 射水川
同 太刀若　同 楯甲
同 綾若　同 出羽花
同 羽黒山　同 青葉山
同　同 駒の里

戀愛（映畫化上演）髑髏組（七十七）

林杢兵衛
金子士郎畫

寄り道（三）

「それからどうした」
「それからまア、人違えてえ事が判りやしたんで、やつと勘辨して貰えやしたが、役人達は手前共より一足先に向ふへ參りやすので、事に依つたら、旦那が役人達と衝突かるんぢやねえかと、熊代樣が大變な心配で御座んしてね」
「左樣であつたか、如何にもその役人共になら行き違つたが、面倒なことになると思つた故、道を脇へ避けたのだ」
「ぢやアそのあとへ、あつし共が行つたんで御座んすね、なる程、さうに違えねえ、これぢやアいくら探したつて、お目に掛かれッこがねえ譯だ、なア勘太」
誤魔化し通した小六は、（先づこれで助かつた）と、云ひたげな顔をして、勘太を見返り、濡れた冷汗を拭つと拭つた。
「丁度、因ない跡へ、跡へとお互に折悪しく擦れ違つたやうぢやな。それから結局どうしたな？」
兵部の言葉がずつと柔らいで來た。
「戸塚の宿を、あちらこちらと隨分探し歩きやしたが、お目に掛かれず、仕方がねえ〳〵、熊代樣の仰有る通り、次の宿まで伸びやした」
「それから？」
「それからまた次の宿まで……てえやうな案配で……」
「江戸まで來たと云ふのか？」
「さうで御座んす。するてえと熊代樣が、こうして三人が一緒になつて探してゐても、廣い江戸のこと、なか〳〵捗りやうがねえから、別々に……と仰有つて、其處でお別れ申しやした」
「うむ、で、その別れた處は何處ぢや？」
小六は、また行き詰つて途方に暮れた。しかし默つては居られない。
「ええと、あれは確か品川だつたなア相棒……」
「さうだ〳〵、泉岳寺の傍だつた」
勘太がうまく調子を合せる。
「うむ、さうして別れ〳〵となり、お互に其の後の消息はどうして知り合ふのだ。勿論、其の方達は道中雇ひの駕籠だから、其の場限りでも仕方がないが……」
「どう致しやして、あつし共にそんな薄情な了簡は御座んせん。昔お世話になりやしたお嬢樣のお身の上で御座んすから、毎日江戸中、旦那を探して歩きやした。若し都合よくお目に掛れやしたその時は、お嬢樣のお宿までお知らせに上る手管で御座えやした」
「うむ、然らば熊代の宿もちやんと聞いてあつたのだな」
「へえ、ところが……その時は、さう云ふ手管で御座んしたが……」
「如何致した？」
「四五日過ぎてから、その宿へ伺つて見ますてえと、熊代樣がもう宿にお出でにならねえんで、變に思つて宿の女中に訊きやすと、なんでもお出先から一人の侍えと一緒に戻つて參られ、その日のうちに宿を引拂つた──との事ですから、あつし共は、多分そのお侍えてえなア旦那だらうと思つて、やれ〳〵と安心したやうな譯なんでしてねえ」
「侍と一緒に引拂つた？どうも變だ。その侍と云ふのは拙者ぢやない。それは一體何處の宿だ？」
「し、品川……いや、し、芝です」
「芝の何んと云ふ宿だ？」
「へえ……し、し、芝屋と云ふ宿で……」
「芝の芝屋？……まさか出鱈目ではあるまいな？」
「め、滅相もない、それは、ほ、本當のことで……」